Pioneer

DVD LDカラオケシステム

DVK-900

取扱説明書

準備・基本操作編

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

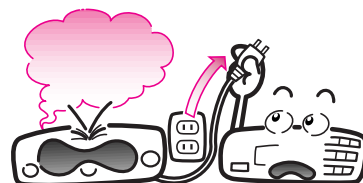
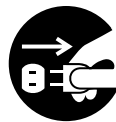
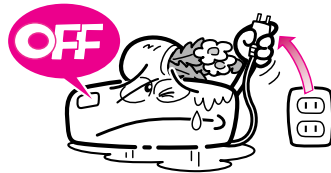
⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

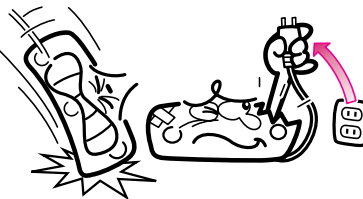
⚠警告

〔異常時の処置〕

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

ご使用上の注意

操作によっては再生中に画面が止まり、操作ボタンを受けない場合があります。その場合は、一度STOPしてから再生をしてください。

— 故障の原因となる事柄についての注意文です。必ずお読みください。

— 操作中に「おや？」と思われるかもしれない事柄について説明しています。

— アドバイス、または聞きなれない用語についての説明です。

— リモコンのマークです。このマークの操作は、リモコンでできます。

本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機ご使用の前に最後までお読みください。**特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。**
お読みになった後は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役にたちます。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（たとえば飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理となります。

本機は日本のテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。他のテレビ方式（PAL、SECAM）の表示のあるディスクは使用できません。

ディスクを無断で複製、放送、上映、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

目　次

■安全上のご注意 2

準備・接続

■ご使用の前に 4
付属品の確認をする 4
リモコンに乾電池を入れる 4
移動あるいは輸送する場合 5
■設置のしかた 5
DVD/LDプレーヤーを設置する 5
テレビすべり止め金具を取付ける 5
■接続のしかた 7
映像(ビデオ)入力端子を持つテレビとつなぐとき 7
アンテナ端子だけのテレビとつなぐとき 9

各部の名称

■各部のなまえ .... 11〜15
リモコン 11
前面部 12
後面部 14
表示部 15

カラオケ操作

■ディスクでカラオケをするには ... 16〜25
■再生できるディスクの種類 16
■DVDディスクでカラオケを楽しむとき 18
■レーザーディスクでカラオケを楽しむとき 20
■ビデオCD，CDV，CDでカラオケを楽しむとき 22
■操作が終了したら 24
■好みの音に調整するには 25

■テープでカラオケをするには ... 26〜29
カラオケテープでカラオケするとき .. 26
音楽テープでカラオケするとき 27
カラオケを録音するには 28

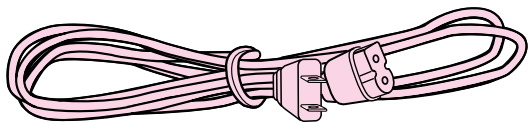
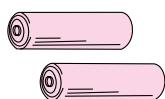
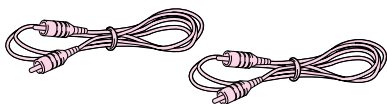
その他

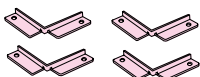
■ディスクをセットする前に 30
■お手入れのしかた 31
■デモモードについて .... 裏表紙

ご使用の前に

1 付属品の確認をする。

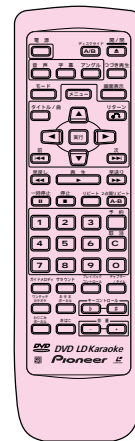
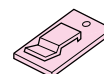
◎ デッキアンプキャビネット部

● 電源コード

● 単3形乾電池(R6P)×2

● ビデオコード×2

● キャスター台座×4

● L字金具×4

● 木ネジ×8

● ヒートン×3

◎ DVD/LDプレーヤー部

● ワイヤレスリモコン

● ヘッドホンコード ホルダー×1

ヘッドホンのコードが、プレーヤーのディスクトレイの開閉を妨げるときに、本機の左側面部に取り付けてください。ヘッドホンのコードを止めることができます。

● 取扱説明書(準備・基本操作編)
(応用操作編)

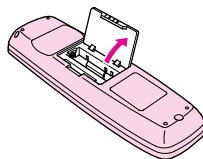
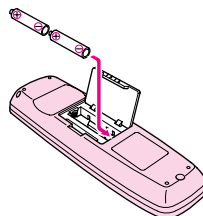
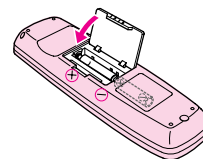
● 保証書

●「ご相談窓口・修理窓口のご案内」

● 安全上のご注意

● 操作ガイド

2 リモコンに乾電池を入れる。

1. 裏側のふたをあける。

2. 単3乾電池を入れる。

3. ふたをしめる。

直射日光や蛍光灯の強い光が直接本体のリモコン受光部に当たっているとリモコン操作ができない場合があります。そのようなときは、設置場所を変えるか蛍光灯を受光部から離してください。

⚠ 注意

守ってください!!

乾電池は、誤った使い方をすると液もれや破裂などの危険があります。次の点について特にご注意ください。

● 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通り正しく入れてください。

● 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

● 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。

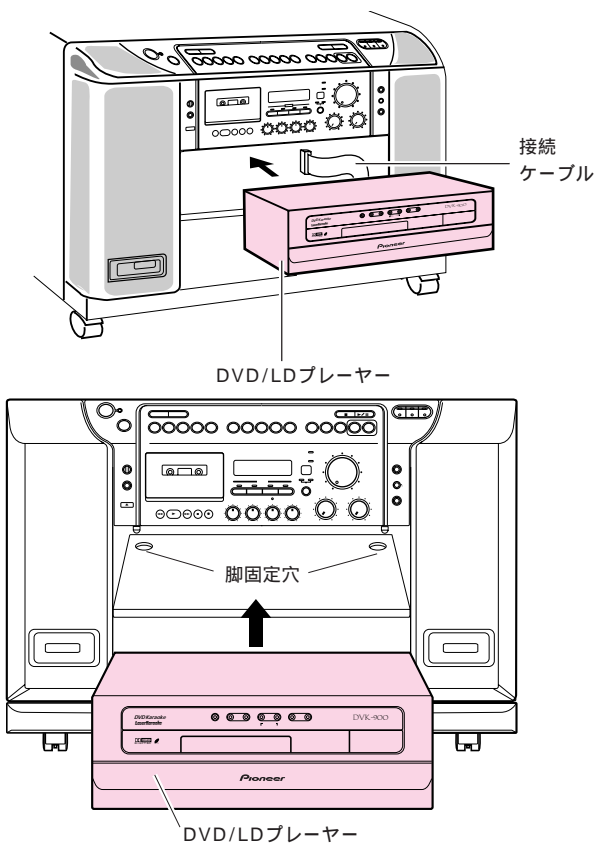
● 乾電池には充電式と充電式でないものがありますので、混ぜて使用しないでください。また電池の注意表示をよく見てご使用ください。

● 長い間(約1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために、電池を取り出してください。液漏れが起きてしまったときは、ケース内に付いた液をよく拭きとってから新しい電池を入れてください。

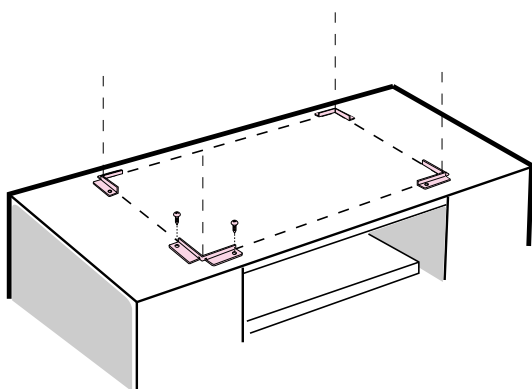
3 移動あるいは輸送する場合

必ずディスクを取り出して、ディスクトレイを閉じてください。
トレイが収納されていることを確認して、その後、電源スイッチをオフ(切)にする。(スタンバイインジケーターが緑色→赤色に変わる)。表示窓の「－OFF－」の点滅が消えてから、電源コードを抜いてください。

設置のしかた

1 DVD/LDプレーヤーを設置する。

① 左図の様にDVD/LDプレーヤーの接続ケーブルを棚板に先に乗せてからDVD/LDプレーヤーをゆっくり棚板に乗せ押し入れます。
② 棚板にそってDVD/LDプレーヤーを押し入れます。(棚板の脚固定穴にDVD/LDプレーヤーの脚が入ると定位置になります。)
③ 設置完了です。

注意‼ DVD/LDプレーヤーを棚に入れるとき、接続ケーブル先端のプラグを棚板等にぶつけてこわさないように気を付けてください。

2 テレビすべり止め金具を取付ける。

- 本機の上(天板)にテレビをのせる場合、テレビがすべり落ちないように先に付属のL字金具を取り付けます。
- 天板に、テレビの脚の位置に合わせて、付属の木ネジで図のようにL字金具を取り付けてください。(木ネジは、キリなどで先に天板に穴をあけてからドライバーで取り付けてください。)

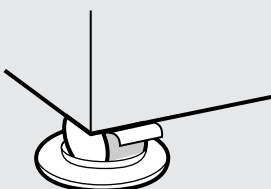
3

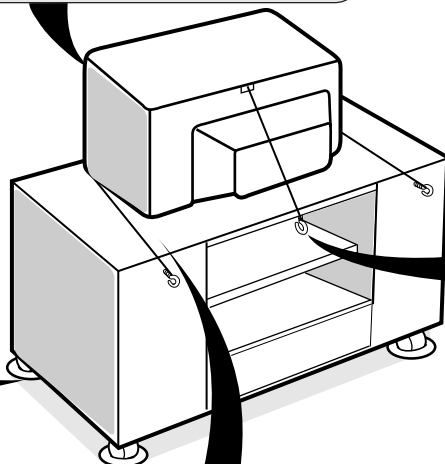
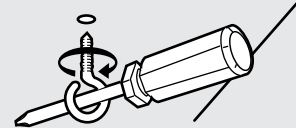
- 本機の上にテレビを乗せてお使いになる場合は必ず以下の転倒防止対策を実施してください。
- 設置場所は平坦なしっかりしたところを選んでください。傾いた所やぐらつく所に設置すると、本機が倒れたりすることがあります。
- 本機の上に乗せるテレビは、28型ワイドテレビ・29型通常テレビ以下のものにしてください。(一部の29型テレビでは、搭載できないものもあります。)
- 本機の上には70kgを越える重量のもの、また本機からはみ出すような大きなものは、乗せないでください。

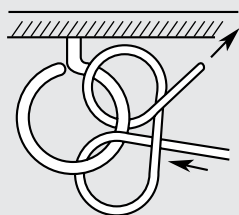
⚠ 注意

■ 移動するときは

- 必ず電源を切ってください。電源コードを抜く場合は必ず電源スイッチのインジケーターが赤色になって、表示窓の「-OFF-」の点滅が消えてから抜いてください。また、本機の上にテレビなどを乗せたまま移動しないでください。
- 本機をキャスターで移動するとき、床の材質によって床にキズがつくことがありますので、十分にご注意ください。
- 段差や凸凹のある場合では、キャスターに衝撃を与えないように持ち上げて移動してください。

① キャスター台座を取付ける

危険ですので、絶対にテレビをのせたまま台座の設置をしないでください。

② テレビをのせる

③ ヒートンを取付ける

キャビネット背面に3つの穴(左右、中央)がありますので、付属のヒートンを取付けます。

④ テレビをのせ、ひもをかけてしっかりむすぶ

テレビの前側の脚と、背面の固定部分にひもをかけ、ヒートンにしっかり結びます。

⑤ 壁に固定する

※1　テレビの取扱説明書に従って、テレビの転倒防止を行ってください。壁や柱などの強度の高い部分に、市販の固定具を使用し、取り付けたヒートンをひもやくさりで結んでください。

※2　放熱効果を良くするため、20cm以上壁面より離してください。

■ テレビの上に物を置くと、

テレビが落ちたり、本機が倒れたりすることがありますので、物を置かないでください。

■ 本機の左右にテレビを置くと、

色ずれが起こることがあります。そのようなときは、本機とテレビを離して設置してください。

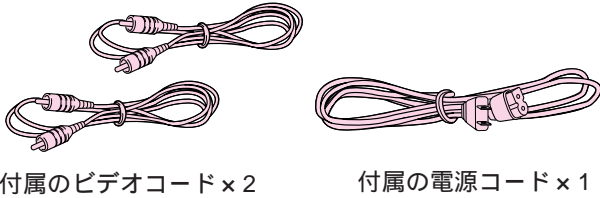
接続のしかた

映像(ビデオ)入力端子を持つテレビとつなぐとき

● 接続の前に、本機と他の機器の電源を切り、本機の電源プラグをコンセントからはずしてください。
● 接続がすべて終わってから電源を入れてください。

■基本的な接続のしかた

用意するもの

付属のビデオコード×2　　付属の電源コード×1

手順(コードは端子の奥までしっかり差し込んでください。)

1. **接続ケーブルをデッキアンプ部へつなぐ。**
2. **DVD/LDプレーヤーの映像出力とデッキアンプの映像入力を付属のビデオコードでつなぐ。**
3. **もう一本の付属のビデオコードをつなぐ。**
4. **DVD/LDプレーヤー部のインレット端子へ付属の電源コードを差し込み、プラグ側をデッキアンプの専用コンセントへ差し込む。**
5. **デッキアンプ部の電源コードを壁の電源コンセントへつなぐ。**

準備・接続

差し込むとき
カチッと音がするまで差し込む。

はずすとき
両側のつまみを押しながら引っぱる。

デッキアンプ部

付属のビデオコード

DVD/LD
プレーヤー部

接続ケーブル

市販のSビデオコード

S映像入力端子のあるテレビのとき

S映像

映像出力

映像入力

付属の電源コード

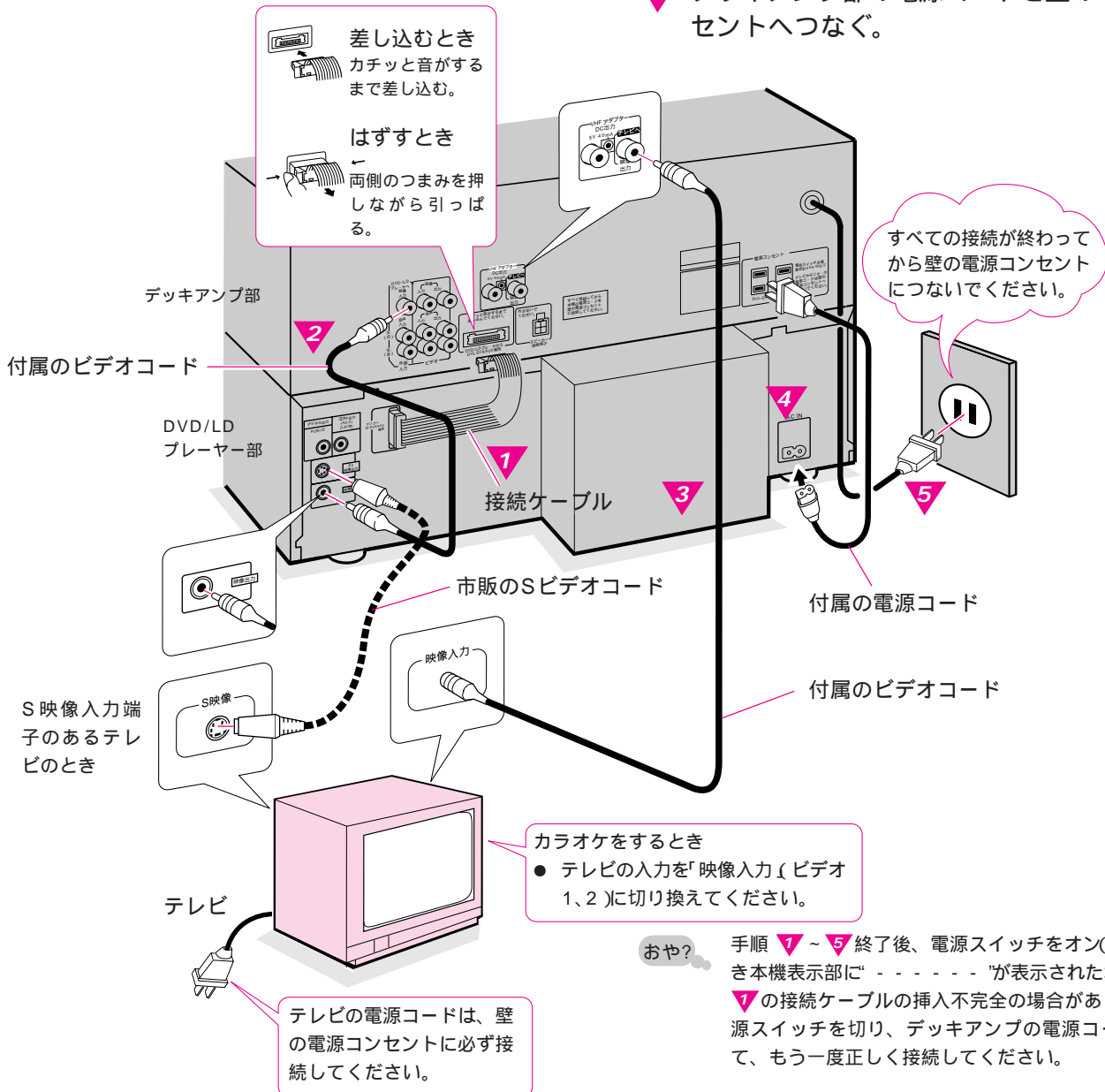
付属のビデオコード

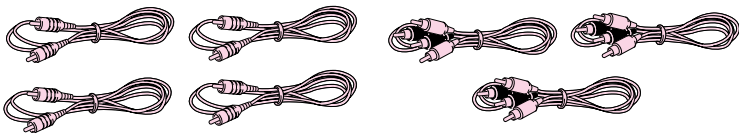
すべての接続が終わってから壁の電源コンセントにつないでください。

テレビ

カラオケをするとき
● テレビの入力を「映像入力」(ビデオ1、2)に切り換えてください。

テレビの電源コードは、壁の電源コンセントに必ず接続してください。

おや?
手順 1 ～ 5 終了後、電源スイッチをオン(入)したとき本機表示部に“ーーーーーー”が表示された場合は手順 1 の接続ケーブルの挿入不完全の場合があります。電源スイッチを切り、デッキアンプの電源コードを抜いて、もう一度正しく接続してください。

■ビデオやFMチューナーなどの外部機器を接続するとき

用意するもの

市販・付属のビデオコード×4　　市販のオーディオコード×3

- オーディオコードは、端子の色を合わせてつなぎます。(赤は右(R)側、白は左(L)側に)
- 必ず、付属の電源コードとビデオコードの接続及びDVD/LDプレーヤーからの接続ケーブルはつないでください。

ビデオコード（市販）

白　赤

デッキアンプ部

ビデオコード（付属）

DVD/LD プレーヤー部

すべての接続が終わってから壁の電源コンセントにつないでください。

電源コード（付属）

VHFアンテナ

UHFアンテナ

オーディオコード（市販）

LINE 音声 入力 出力 L R

LINE L R

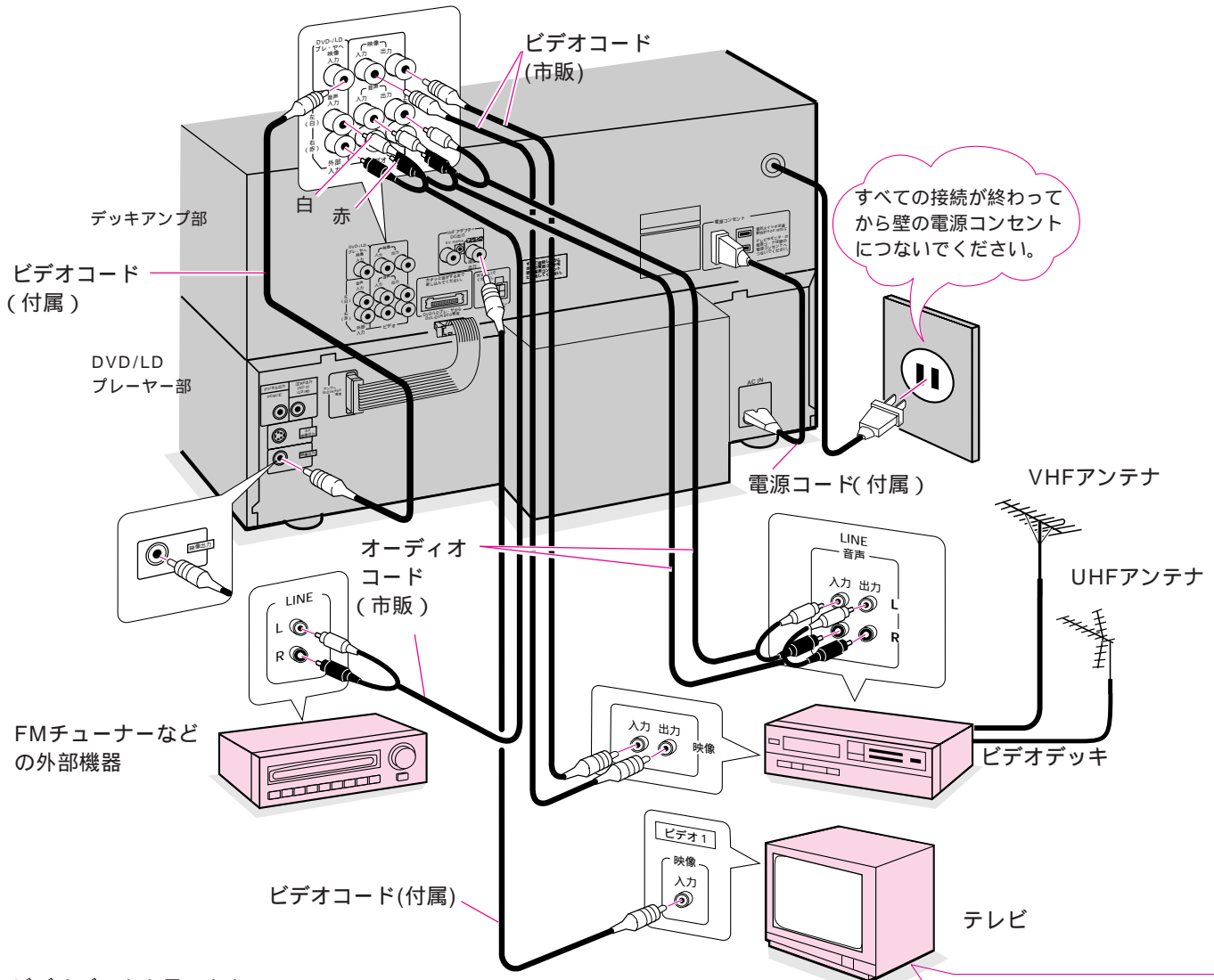
FMチューナーなどの外部機器

入力 出力 映像

ビデオデッキ

ビデオ1 映像 入力

ビデオコード(付属)

テレビ

ビデオデッキを見るとき

- 本機の“入力切換”を「ビデオ」に切り換えてください。
- テレビにつないである接続コードは、束ねてまっすぐに下におろし、DVD/LDプレーヤー、ビデオデッキにつないでください。コード類をバラバラのまま放置しますと、雑音を発生させる原因となります。

注意!! 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。そのため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画・再生をすると、正常な再生画像が得られない場合があります。

ビデオ、DVD、LD、ビデオCDを見るとき

テレビの入力を「映像入力」(ビデオ1、2)に切り換えてください。

FMチューナーなどの外部機器の音声を楽しむとき

本機の“入力切換”を「外部入力」に切り換えてください。

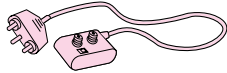
アンテナ端子だけのテレビとつなぐとき

- 接続の前に、本機と他の機器の電源を切り、本機の電源プラグをコンセントからはずしてください。
- 接続がすべて終わってから電源を入れてください。

■基本的な接続のしかた

用意するもの

付属のビデオコード×1

付属の電源コード×1

別売のRFモジュレーター×1（JA-RF3L）

手順（コードは端子の奥までしっかり差し込んでください。）

1. **接続ケーブルをデッキアンプ部へつなぐ。**
2. **DVD/LDプレーヤーの映像出力とデッキアンプの映像入力を付属のビデオコードでつなぐ。**
3. **RFモジュレーターをつなぐ。**
4. **DVD/LDプレーヤー部のインレット端子へ付属の電源コードを差し込み、プラグ側をデッキアンプの専用コンセントへ差し込む。**
5. **デッキアンプ部の電源コードを壁の電源コンセントへつなぐ。**

おや？ 手順1～5終了後、電源スイッチをオン（入）したとき本機表示部に“ −−−−−− ”が表示された場合は手順1の接続ケーブルの挿入不完全の場合があります。電源スイッチを切り、デッキアンプの電源コードを抜いて、もう一度正しく接続してください。

差し込むとき
カチッと音がするまで差し込む。

はずすとき
両側のつまみを押しながら引っぱる。

デッキアンプ部

付属のビデオコード

DVD/LDプレーヤー部

接続ケーブル

すべての接続が終わってから壁の電源コンセントにつないでください。

付属の電源コード

UHFアンテナ

VHFアンテナ

詳しくは、RFモジュレーター（JA-RF3L）の取扱説明書をご覧ください。
＊RFモジュレーターを使って接続するとテレビのスピーカーから音声は出ません。（映像のみ）

RFモジュレーター

RFアンテナケーブル（別売RFモジュレーターに付属）

テレビ

カラオケをするとき
- テレビのチャンネルを、1チャンネルか2チャンネル（放送のない方）にし、RFモジュレーター（JA-RF3L）も同じチャンネルに合わせます。
- 音声は、DVK-900のスピーカーからのみ出ます。

テレビの電源コードは、壁の電源コンセントに必ず接続してください。

VHFテレビ放送を見るとき
- **本機の電源を切ってください。この接続では、本機の電源が入っているときVHFテレビ放送を見ることはできません。**

■ビデオやFMチューナーなどの外部機器を接続するとき

用意するもの

市販・付属のビデオコード×3　市販のオーディオコード×3　市販の同軸ケーブル×2

- オーディオコードは、端子の色を合わせてつなぎます。（赤は右（R）側、白は左（L）側に）
- 必ず、付属の電源コードとビデオコードの接続及びDVD/LDプレーヤーからの接続ケーブルはつないでください。

ビデオコード（市販・付属）

デッキアンプ部

白　赤

ビデオコード（付属）

DVD/LD プレーヤー部

すべての接続が終わってから壁の電源コンセントにつないでください。

電源コード（付属）

VHFアンテナ

UHFアンテナ

オーディオコード（市販）

LINE L R

LINE 音声 入力 出力 L R

FMチューナーなどの外部機器

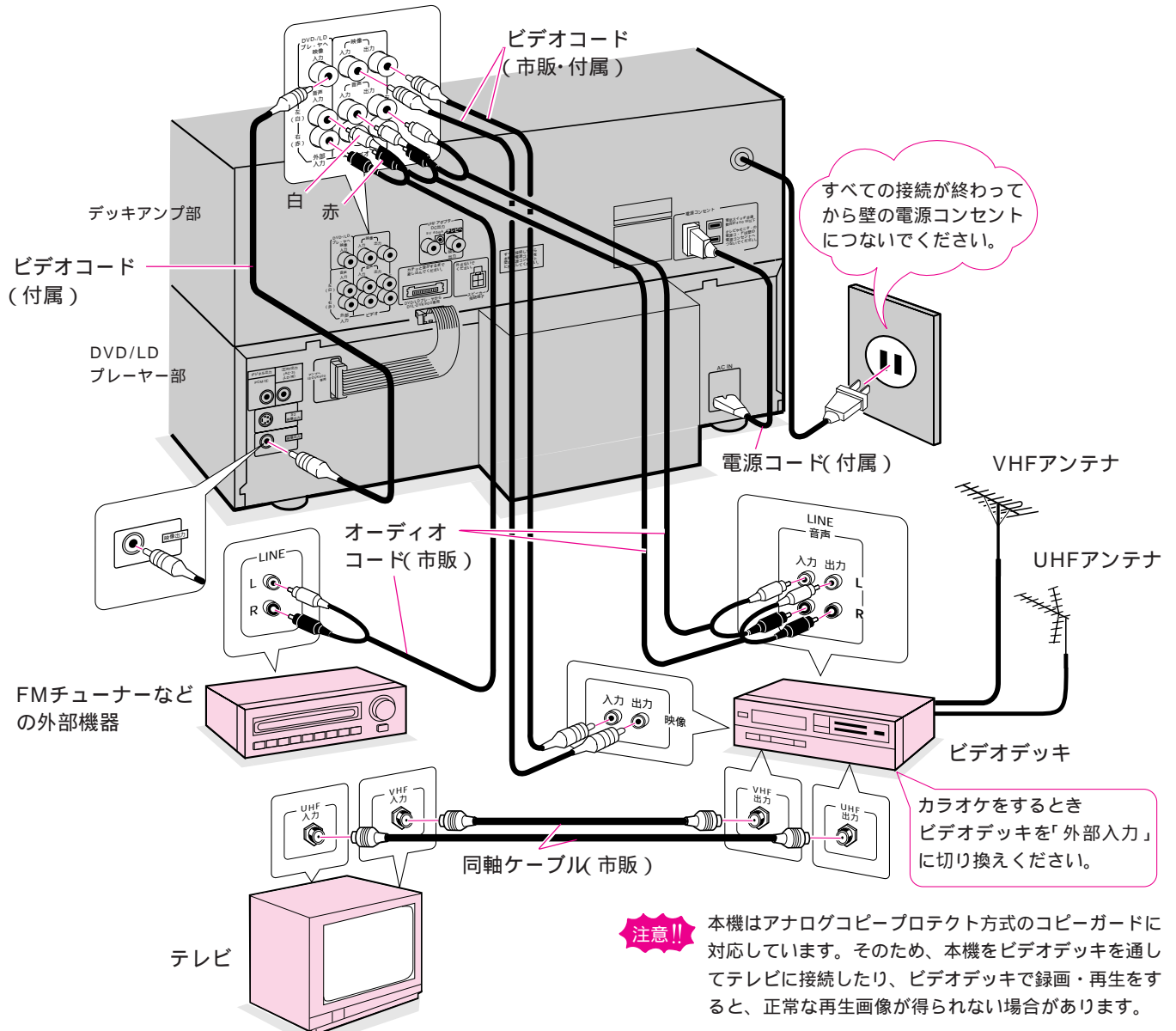
入力 出力 映像

ビデオデッキ

UHF入力　VHF入力　VHF出力　UHF出力

同軸ケーブル（市販）

カラオケをするとき
ビデオデッキを「外部入力」に切り換えください。

テレビ

注意!! 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。そのため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画・再生をすると、正常な再生画像が得られない場合があります。

DVD、LD、ビデオCDを見るとき

① ビデオデッキとテレビの電源を入れる。
② ビデオデッキの“入力切換”で、「ライン」または「外部入力」を選ぶ。
③ テレビのチャンネルを、1チェンネルか2チャンネル（放送のない方）に合わせる。
④ テレビの音量を最小にする。
- ビデオデッキがスタンバイ状態（録画予約中など）または、電源が切れている状態のときは、DVD、LD、ビデオCDを見ることはできません。

ビデオを見るとき

- テレビだけで楽しみたいときは、本機の電源を切り、テレビのチャンネルを1チェンネルか2チャンネル（放送のない方）に合わせます。
- 本機のスピーカーでビデオの音声を楽しみたいときは、本機の“入力切換”でビデオを選び、テレビの音量を最小にします。

FMチューナーなどの外部機器の音声を楽しむとき

本機の“入力切換”を「外部入力」に切り換えてください。

各部のなまえ

P.□ ：おもな参照ページです。

リモコン

リモコンと前面部で同じ名称やマークが付いているボタンは、同じ働きをします。

リモコンで操作できる範囲は、前面部との距離が約7m、受光部との角度が約30°までです。

■ディスクサイドA/Bボタン P.20

■アングルボタン P.25（応用操作編）

■電源ボタン

■字幕ボタン P.24 P.26（応用操作編）

■音声ボタン P.23 P.24（応用操作編）

■モードボタン P.27 P.29 P.30 P.49（応用操作編）

■上ボタン(▲) P.37 ～ P.48（応用操作編）

■タイトル／曲ボタン P.37（応用操作編）

■左ボタン(◀) P.14 P.37（応用操作編）

■前ボタン(|◀◀) P.4 P.32（応用操作編）

■早戻しボタン(◀◀)

■再生ボタン(▶)

■一時停止ボタン(❚❚)

■停止ボタン(■)

■選曲ボタン(0～9)
選曲するときなどに使います。

■ガイドメロディボタン P.12（応用操作編）

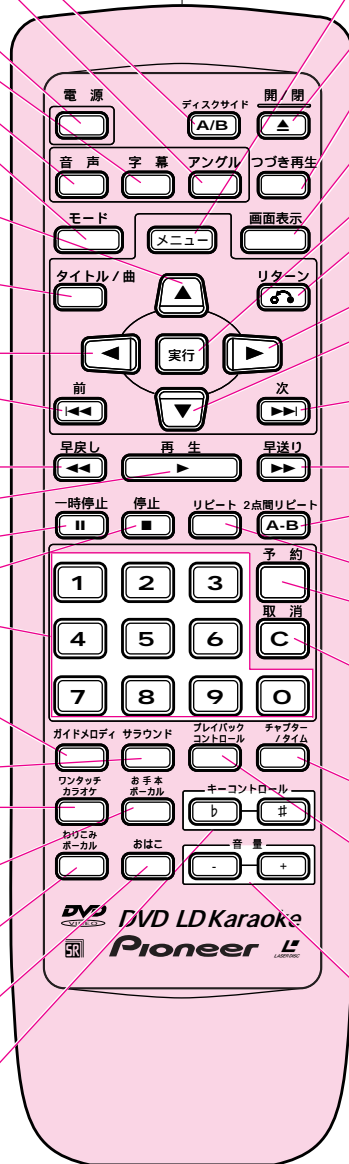
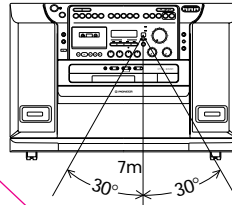
■サラウンドボタン P.25

■ワンタッチカラオケボタン P.8（応用操作編）

■お手本ボーカルボタン P.6（応用操作編）

■わりこみボーカルボタン P.6 P.7（応用操作編）

■おはこボタン P.16 P.51（応用操作編）

■キーコントロールボタン(♭、♯) P.25
演奏の音程を変えるのに使います。

■メニューボタン P.14 ～ P.17 P.36 ～ P.48（応用操作編）

■開／閉ボタン(▲) P.18 P.20

■つづき再生ボタン P.34 P.35（応用操作編）

■画面表示ボタン P.5 P.32 P.52 ～ P.53（応用操作編）

■実行ボタン

■リターンボタン(↶) P.19 P.36 ～ P.48（応用操作編）

■右ボタン(▶) P.14 P.37（応用操作編）

■下ボタン(▼) P.37 ～ P.48（応用操作編）

■次ボタン(▶▶|) P.4 P.32（応用操作編）

■早送りボタン(▶▶)

■2点間リピートボタン(A-B) P.33（応用操作編）

■リピートボタン P.33（応用操作編）

■予約ボタン P.4（応用操作編）
歌いたい曲を予約するときに使います。

■取消ボタン P.19 P.21（準備・基本操作編）、P.5（応用操作編）
選曲や予約を取消すときなどに使います。

■チャプター／タイムボタン P.31（応用操作編）

■プレイバックコントロールボタン P.18 P.19（応用操作編）
ビデオCD（バージョン2.0）を見るときに使います。

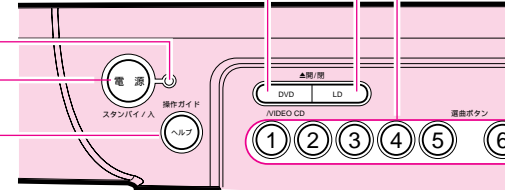
■音量ボタン(－、＋) P.18
－：小さくなります。
＋：大きくなります。

前面部

選曲ボタン P.19
ディスクの選曲をするときに使います。

開／閉ボタン P.18 P.20
ディスクトレイを開閉します。
（DVD、CD、ビデオCD用ディスクトレイと
LD専用ディスクトレイと独立しています。）

電源ボタン P.18
スタンバイインジケーター

ヘルプボタン P.18
（応用操作編）

表示部 P.15

入力切換ボタンとインジケーター
（DVD/LD/VIDEO CD・テープ・ビデオ・外部入力）
再生する機器に合わせて切り換えます。DVD/LDプレーヤーとテープデッキは再生操作を始めると、自動的に切り換わります。（オートファンクション）

カセットドア

ヘッドホン音量つまみ

ヘッドホン端子

テープ取り出しボタン

テープデッキ操作ボタン P.26
（◀◀：巻戻し、▶：再生、▶▶：早送り、■：停止、●：録音）

LDトレイ P.20

高音・低音つまみ P.21（応用操作編）
演奏の高音または低音の強弱を好みに合わせて調整できます。
マイクを通した声の調整はできません。

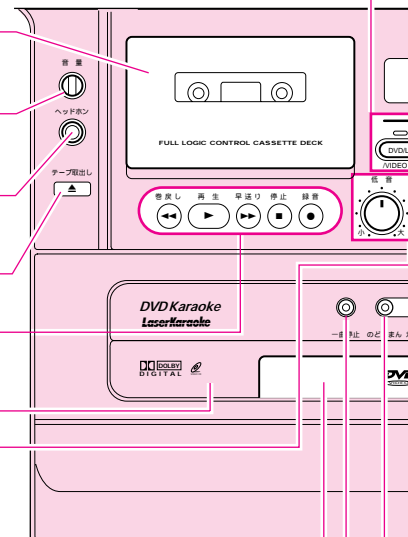
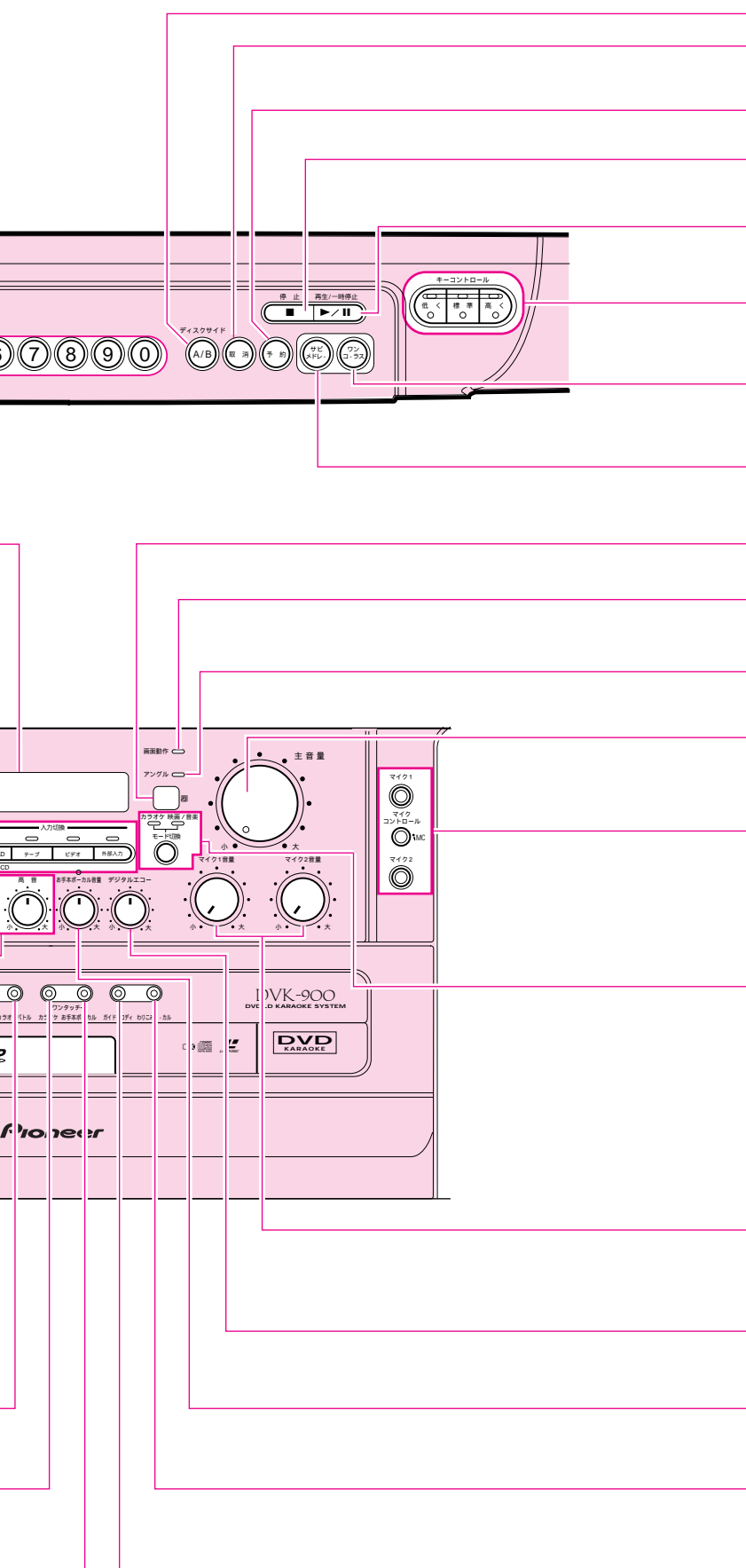
DVD/CD専用トレイ P.18

一曲停止ボタン P.19
一曲ごとに一時停止するか、連続して再生するか切り換えるボタンです。

のどじまんボタン P.10（応用操作編）
カラオケを採点する機能です。

カラオケバトルボタン P.9（応用操作編）
2人の歌を同時に採点する機能です。

ワンタッチカラオケボタン P.8（応用操作編）
ディスク、テープ等の歌手の声が小さくなるので普通のディスク・テープでカラオケができるボタンです。

ワンタッチお手本ボーカルボタン P.6 P.7（応用操作編）
お手本の歌手の声が聞ける機能です。

ディスクサイドA/B切換ボタン P.20

取消ボタン P.19 P.21（準備・基本操作編）
P.5（応用操作編）

予約ボタン P.4（応用操作編）

停止ボタン（■）
ディスクの再生を停止します。

再生／一時停止ボタン（▶/❚❚）
ディスクの再生を始めます。演奏中に押すと一時停止します。

キーコントロールボタン＆インジケーター P.25
演奏の音程を変えることができます。

ワンコーラスボタン P.12（応用操作編）
演奏曲の一番のみを再生させる機能です。

サビメドレーボタン P.13（応用操作編）
曲のサビ部分のみを続けて再生する機能です。

リモコン受光部

画面操作インジケーター
リモコンのメニューボタンを押して画面操作をしている時に点灯します。

アングルインジケーター P.25（応用操作編）
複数の方向から映された映像が記録されている場合に点灯します。

主音量つまみ
音量を調整します。

マイク端子
（マイク1、マイクコントロール、マイク2）P.18 P.25
マイクをつなぎます。マイクコントロール端子は、別売りのマイク DM-C820、 DM-C920専用です。

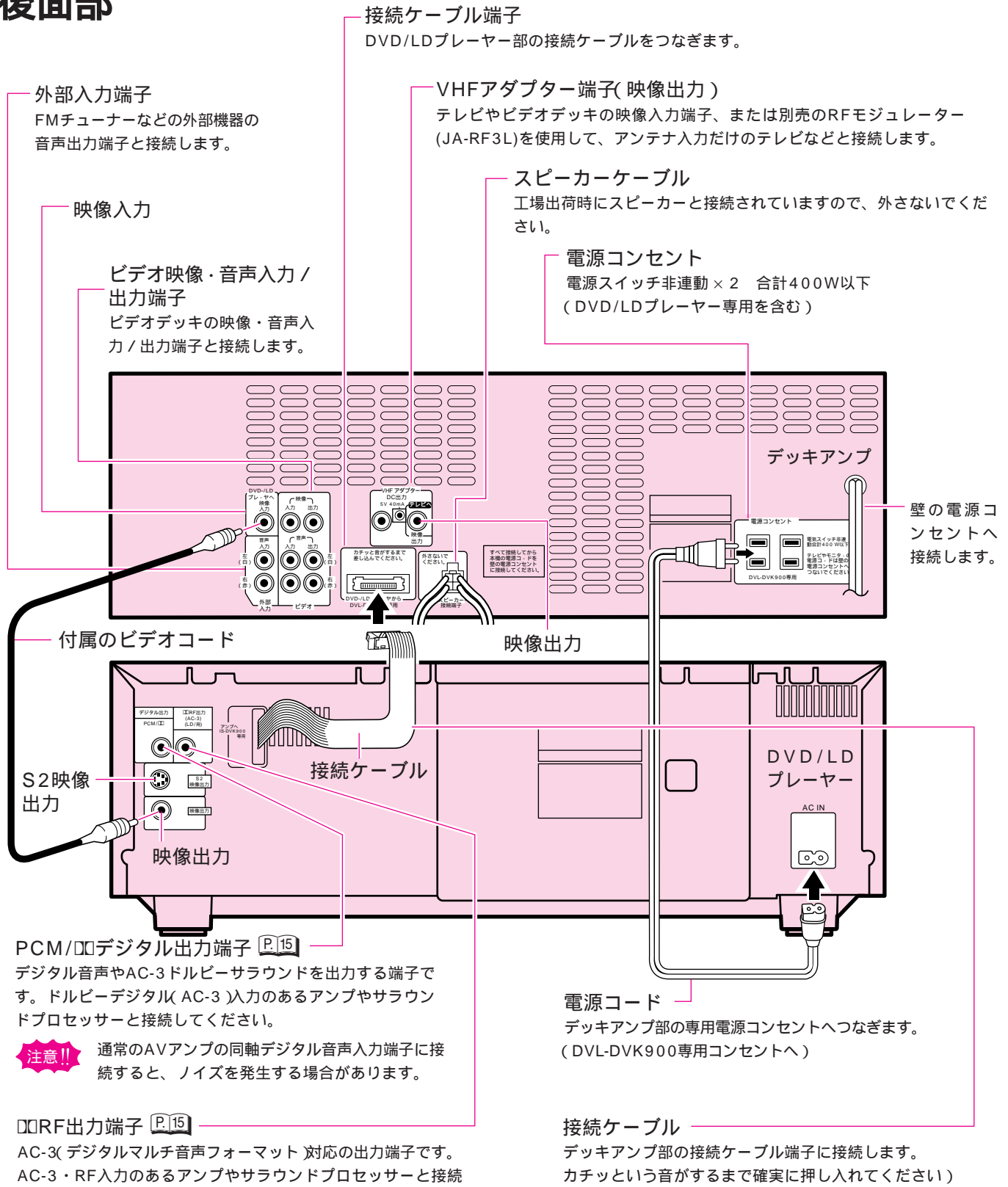
モード切換ボタンとインジケーター
P.18 P.20 P.22（準備・基本操作編）、
P.18 P.20 P.21（応用操作編）
本機を使う目的に合わせた音質にします。
カラオケ　　：カラオケを楽しむとき、
映画／音楽　：映画ディスクを楽しむとき、
　　　　　　　CDなどの音楽を楽しむとき

マイク1、2音量つまみ
マイクの音量を調整します。

デジタルエコーつまみ P.25
マイクのエコーを調整します。

お手本ボーカル音量つまみとインジケーター P.6 P.7
（応用操作編）
インジケーターが点灯中はお手本ボーカルの音量調整ができます。

わりこみボーカルボタン P.8（応用操作編）
マイクで歌うと歌手の声が消え、歌をやめると歌手の声がでる機能です。

ガイドメロディボタン P.12（応用操作編）
ガイドメロディを出したり、消したりするボタンです。

⚠ **警告**

- 消費電力がパネルに表示されているＷの数値を越える電気機器（トースター、ドライヤーなど）は絶対につながないでください。機器の故障や火災の恐れなどがあります。
- テレビの電源コードは必ず壁の電源コンセントへ接続してください。

■デジタル出力端子設定のしかた

出力はPCM/□□とPCM専用に切り換えられます。お手持ちのアンプがドルビーデジタル(AC-3)に対応していない場合は、出力をPCM専用に切り換える必要があります。(右表参照)

お手持ちのアンプ	通常のAVアンプ	PCM/□□端子を接続し、メニューでPCMに設定してください。
	ドルビーデジタル(AC-3)対応アンプ	PCM/□□端子を接続し、メニューでPCM/DOLBY DIGITALに設定してください。

① 接続するアンプのボリュームをしぼる(MINにする)。

② 本体のモード切換ボタン

で"映画／音楽"を選ぶ。

③ 本体にDVDディスクを入れ停止状態としリモコンの [メニュー] を押す。

● メインメニューが表示されます。

④ リモコンの [▼] で [出力設定] を選ぶ。

⑤ リモコンの数字ボタン [1] を押し、[デジタル] 出力を選ぶ。

⑥ リモコンの数字ボタン [2] を押し、[PCM] を選ぶ。

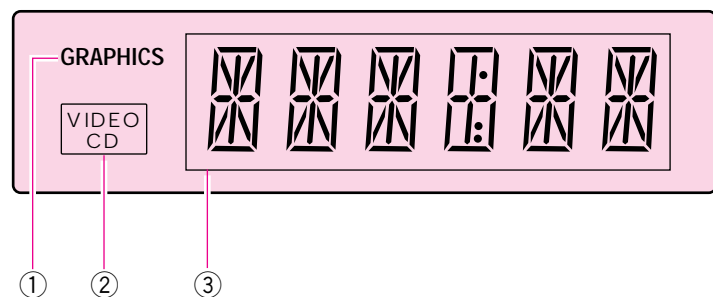
カラオケ音声(マイクの声、キーコン等)は、デジタル出力されません。

PCM専用にすると…

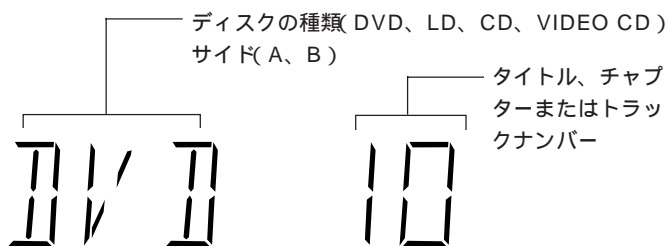
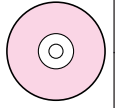
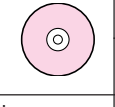
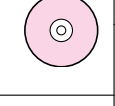
ドルビーデジタル(AC-3)に対応していない通常のアンプへデジタル出力するために、ドルビーデジタルで記録されている音声でもPCMに変換して出力します。

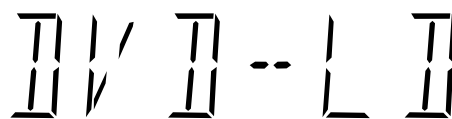
PCM/DOLBY DIGITALにすると…

PCM音声はPCMで、ドルビーデジタル音声はドルビーデジタルで出力します。

表示部

① グラフィックディスクのときに点灯します。
② ビデオCDのときに点灯します。
③ 入力切換ボタンの状態により以下のように表示します。

入力切換ボタン	表示部
● テープ	TAPE
● ビデオ	VTR
● 外部入力	AUX

入力切換ボタンがDVD/LD/VIDEO CDの場合は使用ディスク、使用状態により③の表示が変わります。

● 表示例はDVDディスクの10曲目です。

● ディスクがない場合は以下となります。

再生できるディスクの種類

DVD/LDプレーヤーについて

- 下表に表示されたマークはディスクのレーベル、またはジャケットに付いています。下記の16種類のディスクをアダプターなしで、再生することができます。
- 故障などを防ぐため、8cmアダプター(CD用)や20cmアダプター(LD用)は使わないでください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間	
CD (COMPACT disc DIGITAL AUDIO)	CD 12 cm/片面	74分	
(COMPACT disc GRAPHICS) (CDグラフィックス)	CDシングル 8 cm/片面	20分	
CDV (CD VIDEO)	CDV 12 cm/片面	デジタル音声 20分 デジタル音声＋映像 5分	
VSD (VIDEO SINGLE DISC)	VSD 12 cm/片面	デジタル音声＋映像 5分	
レーザーディスク (LASER DISC) (LaserVision) (LD-G LASER DISC GRAPHICS) (LDグラフィックス) (CD VIDEO LD)	LD 30 cm/両面	CAV	1時間
		CLV	2時間
	LD 20 cm/両面	CAV	28分
		CLV	40分
	LDシングル 20 cm/片面	CAV	14分
		CLV	20分
ビデオCD (COMPACT disc DIGITAL VIDEO) (VIDEO CD)	ビデオCD 12 cm/片面	74分	
	ビデオCDシングル 8 cm/片面	20分	
DVD (DVD VIDEO) (マルチ音声カラオケ)	DVD 12 cm/両面 (一層/二層)	標準再生時間	266分/484分
	DVD 12 cm/片面 (一層/二層)	標準再生時間	133分/242分
	DVD 8 cm/両面 (一層/二層)	標準再生時間	82分/150分
	DVD 8 cm/片面 (一層/二層)	標準再生時間	41分/75分

上記以外のディスクは再生できません。
再生できない例)CD-ROM・LD-ROM・ハイビジョンLDなど。

レーザーディスク(LD)について

標準ディスク(CAV)

ジャケットやレーベルに〔標準ディスク／CAV〕または〔Standard play〕と表示されています。ディスクの1周に1画面が記録されており、一定回転で再生されます。再生時間は片面最大30分(30cmディスク時)です。

長時間ディスク(CLV)

ジャケットやレーベルに〔長時間ディスク／CLV〕または〔Extended play〕と表示されています。一定の線速度で信号が記録されており、再生時もそれに従ってディスクの回転速度を変えながら再生します。
再生時間は片面最大60分(30cmディスク時)です。

デジタル音声付きディスク

digital または digital SOUND マークが表示されています。

アナログ音声信号に加えて、デジタル音声信号も記録されたディスクです。
レーザーディスクの高品質の映像とデジタルサウンドによるカラオケシステムとしての高音質が同時に楽しめます。

デジタル音声付きレーザーディスク・マルチオーディオディスク

digital と MULTI AUDIO または digital SOUND MULTI AUDIO マークが表示されています。

“デジタル音声”、“アナログ音声”それぞれ異なった内容の音声が記録されています。デジタル音声とアナログ音声を切り換えることにより楽しみが何倍にも広がります。

音声仕様の具体例

音声 / ディスク	アナログ音声	デジタル音声
映画・アニメなど	本編の音声	サウンドトラック
デュアルミュージック	ミュージック1	ミュージック2
デジタル音声多重カラオケ	1/Lカラオケ(モノラル) 2/Rカラオケ(モノラル＋ボーカル)	ステレオカラオケ
ステレオ・バイリンガル(二カ国語)	日本語	第一外国語

コンパクトディスク(CD)について

コンパクトディスク(CD)

LDの長時間ディスクと同様で、一定の線速度で信号が記録されており、再生時もそれに従って、ディスクの回転速度を変えながら再生します。再生は片面のみで最大74分です。

ビデオ付きコンパクトディスク(CDV)

ビデオ付きのCDです。CDVの最大再生時間25分のうち20分に通常のCDと同じデジタルオーディオ音声が記録されています。(オーディオパート)
残りの5分に映像とデジタルオーディオ音声が記録されています。(ビデオパート)
本製品では、ビデオパートを再生した後オーディオパートを再生します。

ビデオCDディスク

MDと同等の音質とVHS並の画質で動画再生が楽しめるディスクです。デジタル信号の圧縮技術(MPEG方式)により最大74分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオCDではメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる"プレイバックコントロール(PBC)"対応のディスクがあります。

- 本機はバージョン1.1〔プレイバックコントロール(play back control)なし〕及びバージョン2.0〔プレイバックコントロール(play back control)付き〕のいずれのビデオCDディスクにも対応しています。

プレイバックコントロール(PBC)

ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。
PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。
また高精細／標準の静止画も楽しむことができます。

高精細静止画

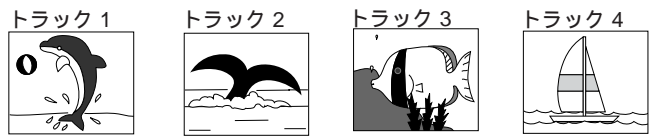
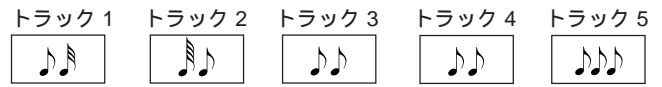
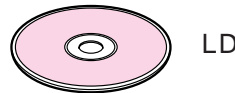
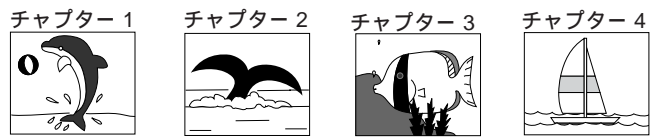
ビデオCDの中に高精細な静止画が入っている場合は、動画の4倍の解像度で静止画を楽しむことができます。

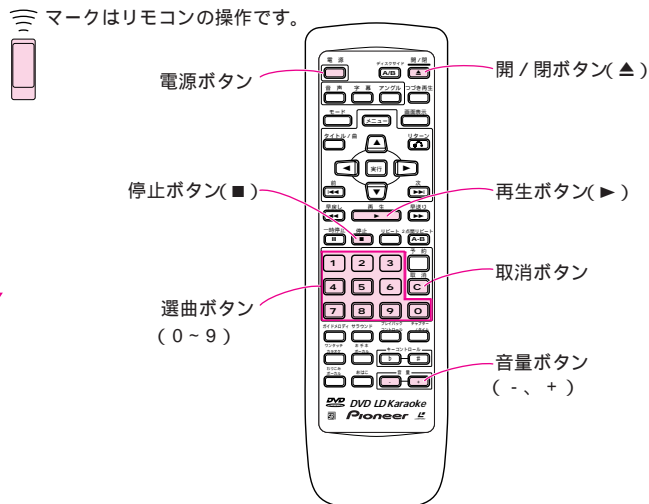
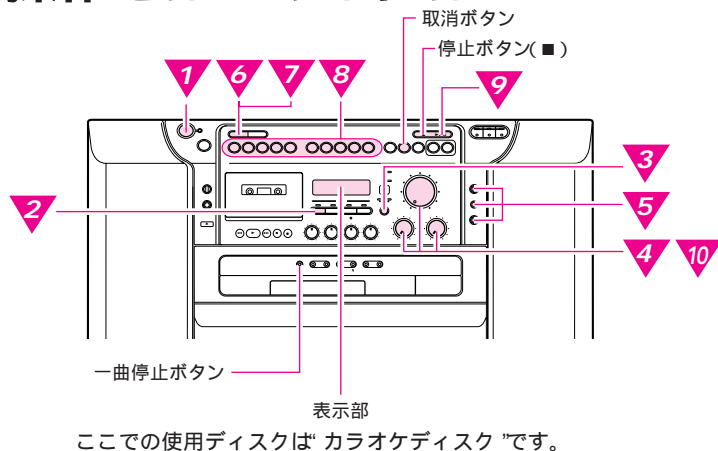
■ディスクの操作について

DVDディスクでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作が出来ないことがあります。パイオニアのDVDプレーヤではディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に禁止マークを表示します。また、メニューや再生中の操作によって対話的な操作が可能になっているようなディスクでは、ディスク全体が連続的でなく枝別れがあるため、リピートやプログラムなどの一部の操作が出来ないことがあります。このような場合もパイオニアのDVDプレーヤでは画面に禁止マークを表示します。

ディスク禁止マーク
プレーヤーによる禁止マーク

■ディスクの構成について

CDやビデオCDではディスクをトラックという単位で分けています。(一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また更にトラックがインデックスという単位で別れている場合もあります。)

LD ではディスクをチャプターという単位で分けています。LDの内容をどのようなチャプターに分割しているかは、それぞれのディスクによって異なります。

DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。また、メニュー画面はどのタイトルにも属しません。映画などではふつう 1 つの映画が 1 つのタイトルに対応しています。カラオケディスクでは 1 曲が 1 タイトルとなっています。ただしこのような区切りになっていないディスクもありますので、サーチ機能やプログラム機能を使用する際にはご注意ください。

DVDディスクでカラオケを楽しむとき

操作をはじめるには…

※ここでの使用ディスクは"カラオケディスク"です。

1 本機とテレビの電源を入れる。

● テレビの入力切換の方法はお手持ちのテレビの取扱説明書をお読みください。

2 入力切換ボタンのDVD/LD/VIDEO CDを押す。

3 モード切換ボタンで"カラオケ"を選ぶ。

4 主音量、マイク1、2音量を"小"にする。

5 マイクをつなぎ、マイクのスイッチを入れる。

おや? マイクはカラオケ用のものをお使いください。カラオケ用ではないマイクでは音量が足りなかったり、ハウリングが起こるなどの不具合が生じる場合があります。

6 DVD/VIDEO CD 開／閉ボタンを押してディスクトレイを出し、ディスクを置く。

● DVD/CD専用トレイまたはLDトレイのどちらでも使用できます。
● ディスクは曲名などが書かれてある面が上側になるようにトレイに置いてください。

注意 動いているトレイに力を加えると、故障の原因になりますのでご注意ください。

7 DVD/VIDEO CD 開／閉ボタンを押して、トレイを閉じる。

● 指などをはさまないように注意してください。
● 再生／一時停止ボタンを押すと自動的にトレイが閉まり、再生を始めます。

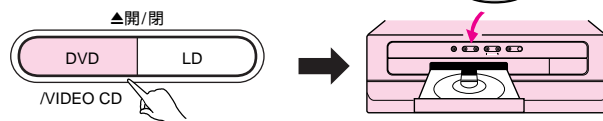
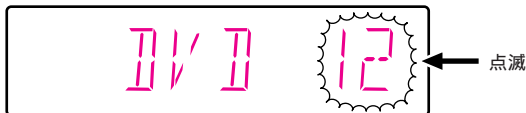
DVDディスクでカラオケを楽しむとき

8 選曲ボタンで曲番号を選ぶ。

(例) 8曲目 : 8

12曲目 : 1 2

26曲目 : 2 6

● 0～9のボタンで1の位と10の位を指定します。リモコンで選曲する場合も同様に操作します。

(例)12曲目を選曲したときの表示部です。

● 選曲メニュー画面が表示されたときは、リモコンの上、下、左、右ボタンを使用して、実行ボタンを押すと再生が始まります。

なるほど! 選曲ボタンを押しまちがえたときは、**取消ボタン**を押して、手順 8 からやり直してください。

9 再生／一時停止ボタンを押す。

再生が始まります。

10 主音量、マイク1、2音量を調整する。

♪♪さあ歌いましょう♪♪

なるほど!

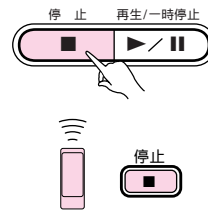
ハウリングについて

スピーカーからの音をマイクが受け、またそれをスピーカーから出力してという繰り返しにより、「キーン」という音が発生する現象のことです。ハウリングが起きたら、次のように対処してください。

(1)マイクをスピーカーから離す。

(2)マイク音量つまみを左側へ回す。(音量を小さくする)

(3)デジタルエコーつまみ(P.25)を左側へ回す。(エコーを小さくする。)

停止するには…

停止ボタンを押す。

なるほど!

一曲停止について

一曲停止ボタンのインジケーターが点灯しているときに、選曲した曲の再生が終了すると、一時停止になります。再び歌うときはもう一度選曲してください。

なるほど!

一曲停止モードを解除するには・・・

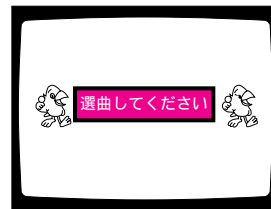
一曲停止ボタンを押す。(一曲停止ボタンのインジケーターが消えます。)選曲した曲の再生が終了しても一時停止状態にならずに続けて演奏されます。

なるほど!

曲間演出について

(DVD、LD、ビデオCD、CDすべてのディスク共通です。)

モード切換ボタンで"カラオケ"を選択したときの一曲停止中または停止中にカラオケ鳥が現われて、カラオケのムードを盛り上げます。

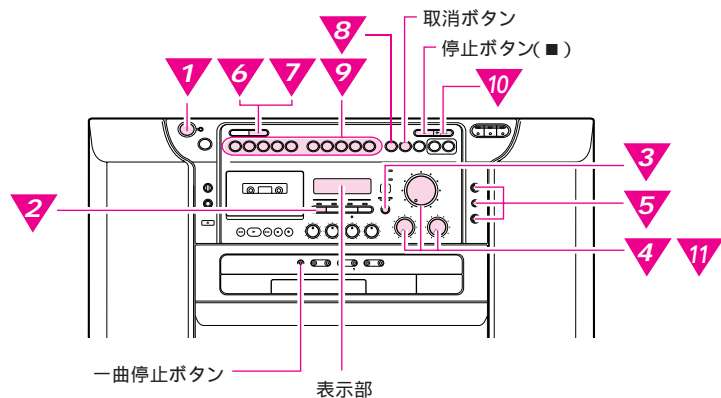
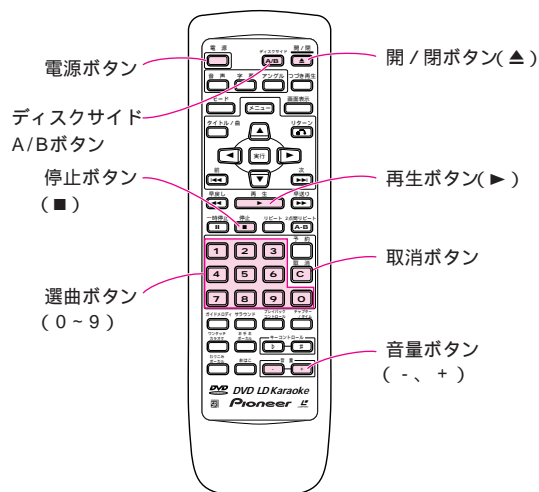
ディスクが入っていて、一曲停止中のとき

おや? DVDではディスクによってメニュー(選択画面)機能を持っているものがあります。このようなディスクではディスクのメニューにしたがいますので、一曲停止モードにはなりません。

また、曲間演出もありません。

おや? ビデオCDのプレイバックコントロールオン(入)(応用操作編 P.18 ～ P.20)のときは一曲停止モードにはなりません。また、曲間演出もありません。

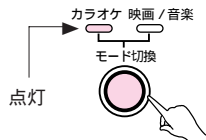
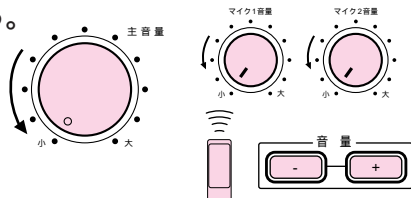
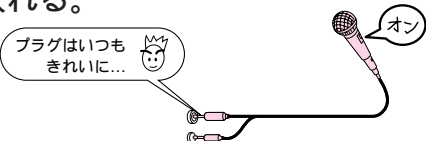
カラオケ操作

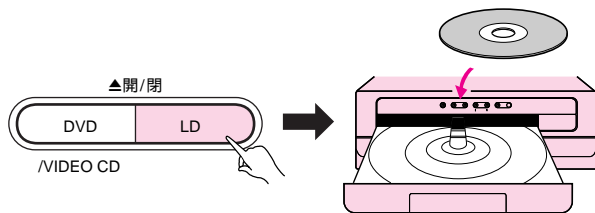
レーザーディスクでカラオケを楽しむとき

操作をはじめるには…

※ここでの使用ディスクは"カラオケディスク"です。

1 本機とテレビの電源を入れる。

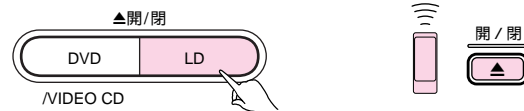
- テレビの入力切換の方法はお手持ちのテレビの取扱説明書をお読みください。

2 入力切換ボタンのDVD/LD/VIDEO CDを押す。

3 モード切換ボタンで"カラオケ"を選ぶ。

4 主音量、マイク1、2音量を"小"にする。

5 マイクをつなぎ、マイクのスイッチを入れる。

おや? マイクはカラオケ用のものをお使いください。カラオケ用ではないマイクでは音量が足りなかったり、ハウリングが起こるなどの不具合が生じる場合があります。

6 LD開／閉ボタンを押して、ディスクトレイを出し、ディスクを置く。

- ディスクは曲名などが書かれてある面が上面になるようにトレイに置いてください。

⚠注意 動いているトレイに力を加えると、故障の原因になりますのでご注意ください。

7 LD開／閉ボタンを押して、トレイを閉じる。

- 指などをはさまないように注意してください。
- 再生／一時停止ボタンを押すと自動的にトレイが閉まり、再生を始めます。

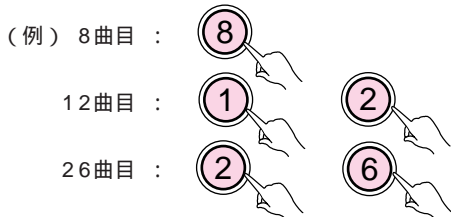
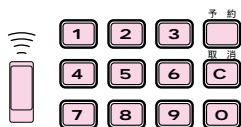
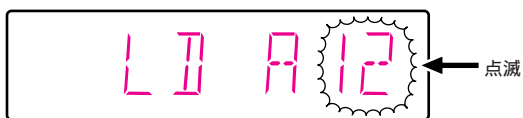
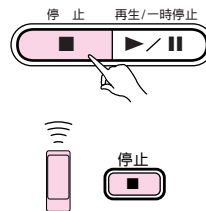
8 両面ディスクの場合、再生する面を選ぶ。

- ディスクは曲名などが書かれてある面が上面になるように置いたときに、上にした面がA面(サイドA)、下にした面がB面(サイドB)となります。
- ディスクサイドを変えないときは、この操作は必要ありません。

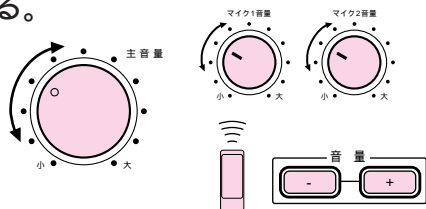
9 選曲ボタンで曲番号を選ぶ。

(例) 8曲目 : 8

12曲目 : 1 2

26曲目 : 2 6

- ⓪～⑨のボタンで1の位と10の位を指定します。リモコンで選曲する場合も同様に操作します。

(例)A面の12曲目を選曲したときの表示部です。

なるほど! 選曲ボタンを押しまちがえたときは、**取消ボタン**を押して、手順 8 からやり直してください。

10 再生／一時停止ボタンを押す。再生が始まります。

11 主音量、マイク1、2音量を調整する。

♪♪さあ歌いましょう♪♪

なるほど! **ハウリングについて**

スピーカーからの音をマイクが受け、またそれをスピーカーから出力してという繰り返しにより、「キーン」という音が発生する現象のことです。ハウリングが起きたら、次のように対処してください。

(1) マイクをスピーカーから離す。
(2) マイク音量つまみを左側へ回す。(音量を小さくする)
(3) デジタルエコーつまみ(P.25)を左側へ回す。(エコーを小さくする。)

停止するには…

停止ボタンを押す。

なるほど! **一曲停止について**

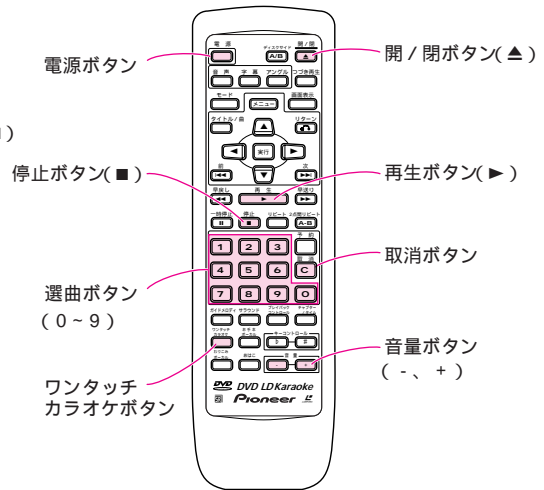
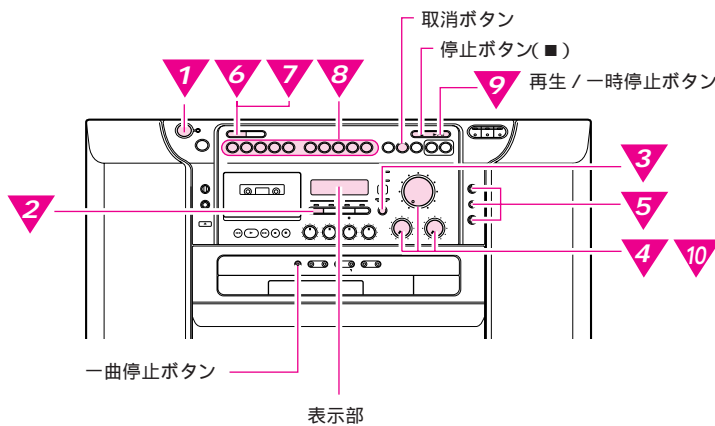
一曲停止ボタンのインジケーターが点灯しているときに、選曲した曲の再生が終了すると、一時停止になります。再び歌うときはもう一度選曲してください。

なるほど! **一曲停止モードを解除するには…**

一曲停止ボタンを押す。(一曲停止ボタンのインジケーターが消えます。)選曲した曲の再生が終了しても、一時停止にならずに続けて演奏されます。

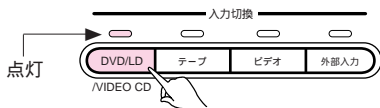
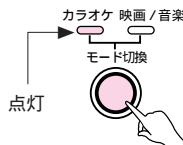
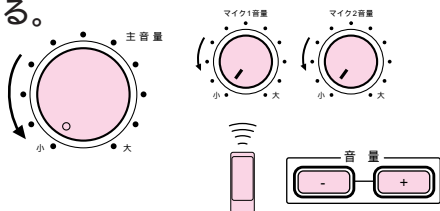
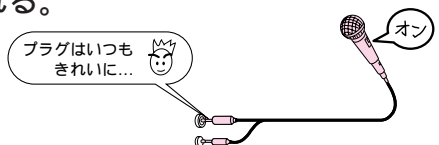
おや? LD再生後、リモコンの開閉ボタンを押すと、LDディスクトレイが出てきます。

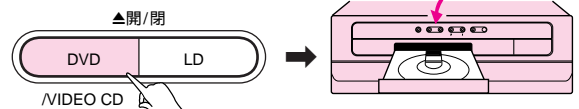
ビデオCD、CDV、CDでカラオケを楽しむとき

操作をはじめるには…

※ここでの使用ディスクは“カラオケディスク”です。

1 本機とテレビの電源を入れる。

- テレビの入力切換の方法はお手持ちのテレビの取扱説明書をお読みください。

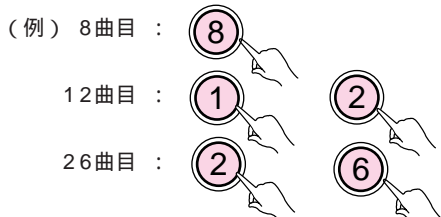
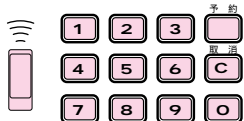
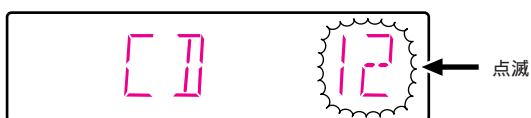
2 入力切換ボタンのDVD/LD/VIDEO CDを押す。

3 モード切換ボタンで“カラオケ”を選ぶ。

4 主音量、マイク1、2音量を“小”にする。

5 マイクをつなぎ、マイクのスイッチを入れる。

おや？
- マイクはカラオケ用のものをお使いください。カラオケ用でないマイクでは、音量が足りなかったり、ハウリングが起こるなどの不具合が生じる場合があります。

6 DVD/VIDEO CD 開／閉ボタンを押してディスクトレイを出し、ディスクを置く。

- DVD/CD専用トレイまたはLDトレイのどちらでも使用できます。
- ディスクは曲名などが書かれてある面が上側になるようにトレイに置いてください。

⚠ **注意**　動いているトレイに力を加えると、故障の原因になりますのでご注意ください。

7 DVD/VIDEO CD 開／閉ボタンを押してトレイを閉じる。

- 指などをはさまないように注意してください。
- 再生／一時停止ボタンを押すと自動的にトレイが閉まり、再生を始めます。

8 選曲ボタンで曲番号を選ぶ。

（例） 8曲目 ： ⑧

12曲目 ： ① ②

26曲目 ： ② ⑥

- ⓪～⑨のボタンで１の位と10の位を指定します。リモコンで選曲する場合も同様に操作します。

（例）12曲目を選曲したときの表示部です。

なるほど! 選曲ボタンを押しまちがえたときは、**取消ボタン**を押して、手順 8 からやり直してください。

9 再生／一時停止ボタンを押す。再生が始まります。

10 主音量、マイク１、２音量を調整する。

♪♪さあ歌いましょう♪♪

なるほど!

ハウリングについて

スピーカーからの音をマイクが受け、またそれをスピーカーから出力していという繰り返しにより、「キーン」という音が発生する現象のことです。ハウリングが起きたら、次のように対処してください。

(1) マイクをスピーカーから離す。
(2) マイク音量つまみを左側へ回す。（音量を小さくする）
(3) デジタルエコーつまみ(P.25)を左側へ回す。
（エコーを小さくする。）

停止するには…

停止ボタンを押す。

なるほど!

一曲停止について

一曲停止ボタンのインジケーターが点灯しているときに、選曲した曲の再生が終了すると、一時停止になります。再び歌うときはもう一度選曲してください。

なるほど!

一曲停止モードを解除するには…

一曲停止ボタンを押す。（一曲停止ボタンのインジケーターが消えます。）選曲した曲の再生が終了しても、一時停止にならずに続けて演奏されます。

おや? ビデオCDのプレイバックコントロールオン（入）（応用操作編 P.18 ～ P.20 ）のときは一曲停止モードにはなりません。また、曲間演出もありません。

なるほど!

音声多重カラオケのディスクを使ってカラオケだけにする場合（歌手の声を消すには）

ワンタッチカラオケを2回押す。

詳しくは応用操作編 P.8 を参照してください。

- ビデオＣＤの詳しい操作方法・楽しみかたは応用操作編（ P.18 ～ P.20 ）を参照してください。

操作が終了したら

1 DVD/VIDEO CD開閉、またはLD開閉ボタンを押す。

⬇

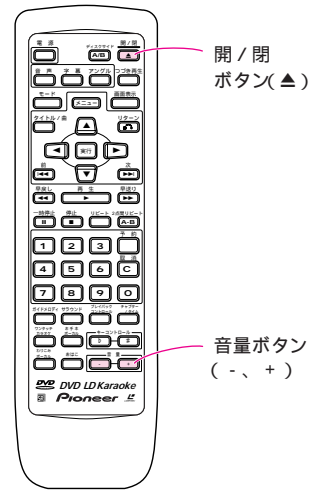
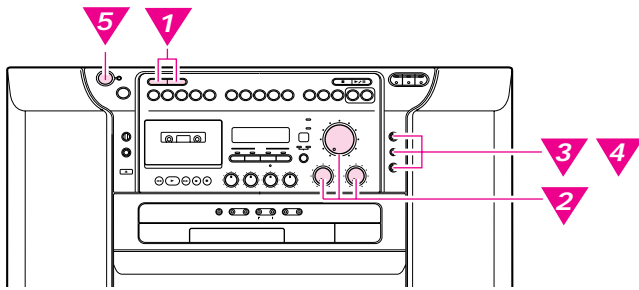
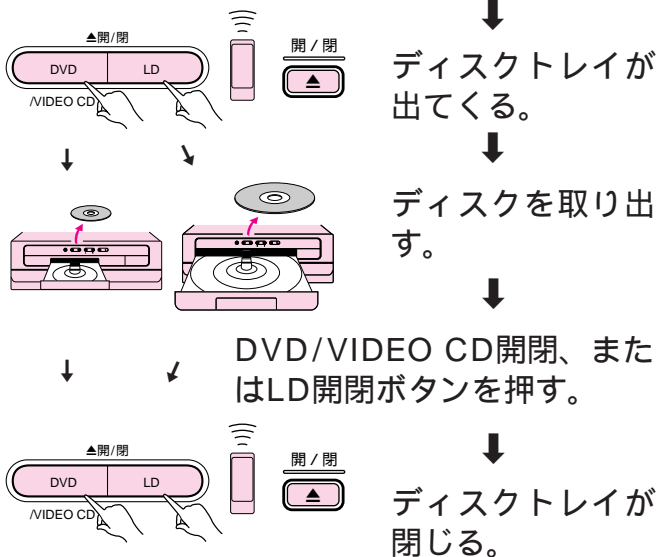
ディスクトレイが出てくる。

⬇

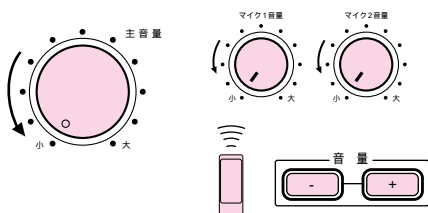
ディスクを取り出す。

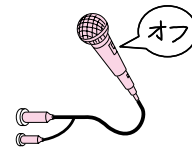
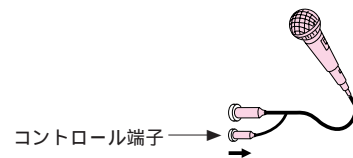
⬇

DVD/VIDEO CD開閉、またはLD開閉ボタンを押す。

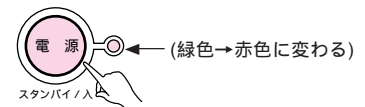
⬇

ディスクトレイが閉じる。

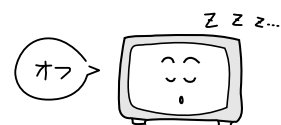
ディスクトレイが出た状態で、ディスクトレイに強い力(特に上方向)が加わると故障の原因となります。必ずディスクトレイは閉じてください。

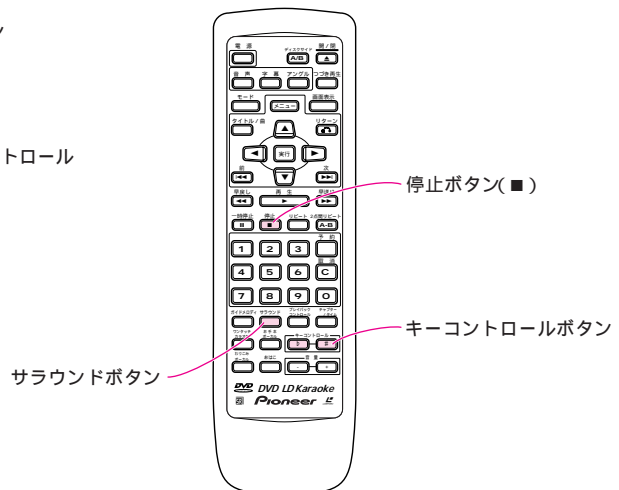
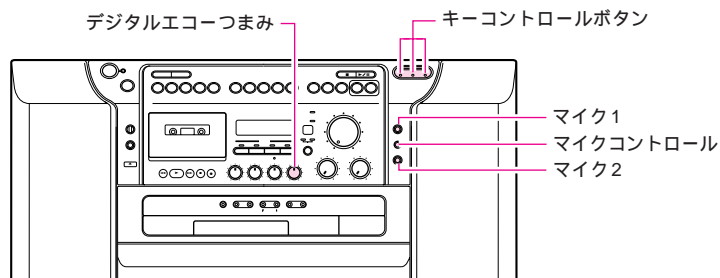
2 主音量とマイク音量を下げる。

長時間一時停止状態のままにしておくとモーター寿命を縮める原因となりますので、プレーヤーが約20分間一時停止状態が続くと停止します。(ポーズタイマー)
(レーザーディスクのみで、DVD、CD、CDVでは働きません。)

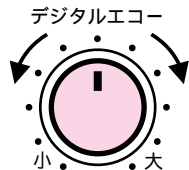
3 マイクのスイッチを切る。

4 マイクをはずす。

- マイクコントロール端子のついているものは、コントロール端子を先にはずしてください。

5 本機の電源を切る。

注意!!

スタンバイインジケーター(緑色)と表示部の一OFF一が点滅し、やがて"OFF"が消えて、スタンバイインジケーターが赤色になります。

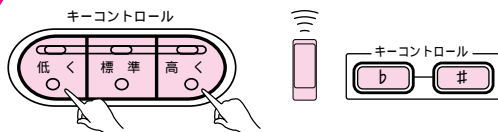
6 テレビの電源を切る。

本機を使わないときは電源を切ってください。
テレビやFM／AM放送の受信状態に影響することがあります。

好みの音に調整するには

エコーを調整する

デジタルエコーつまみで調整する。

おや? 場所によっては、エコーを上げすぎると、ハウリング(「キーン」といういやな音、 P.19 参照)などが起こる場合があります。

おや? ディスクを入れかえるときにエコー音が出なくなることがありますが故障ではありません。

演奏の音程を変える

キーコントロールボタンを押す。

高く(♯) ：音程が高くなります。
標準　　：標準の音程に戻ります。
低く(♭) ：音程が低くなります。

自分の音域に合った音程に調整してください。

なるほど! 曲の終わりで一時停止した場合もしくは再生中に停止ボタン(■)を押した場合、キーコンの音程は標準に戻ります。

なるほど! **エコーとは…**
"反響"といった意味です。
お風呂で歌ったときのような、声の響く効果のことです。

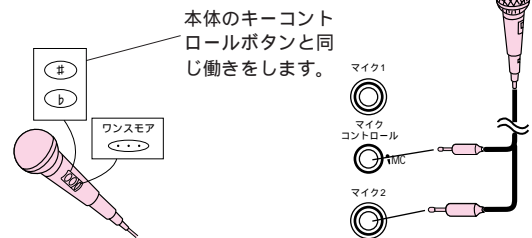
なるほど! **サラウンドとは…**
臨場感や拡がり感のある演奏を楽しめます。

歌う場所の雰囲気づくり

サラウンドボタンを押す。(リモコンのみ)

押すたびに オン ⇄ オフ 切り換わります。

マイクでできる操作

キーコントロールとワンスモアの操作ができます。

● 別売のパイオニアのマイクロホンDM-C920またはDM-C820等で操作できます。

キーコントロールの操作は**マイクの取扱説明書をお読みください。**

なるほど! **ワンスモアとは…**
● 再生中にこのボタンを押すたびに少し前の演奏と映像に戻ることをいいます。
● カラオケの出だし部分で失敗したときや、同じ部分を繰り返し歌うときなどに使います。

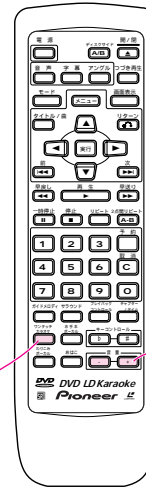
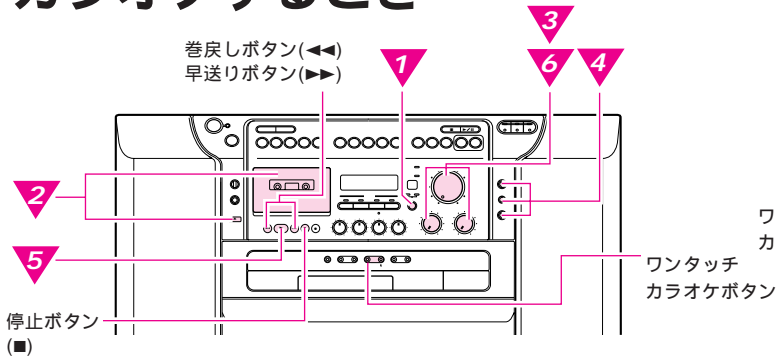
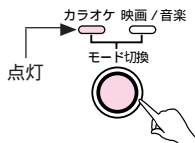
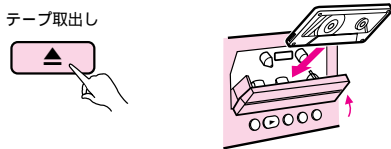
カラオケ操作

テープでカラオケをするには

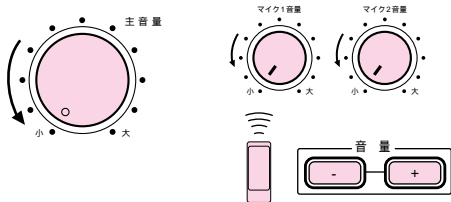
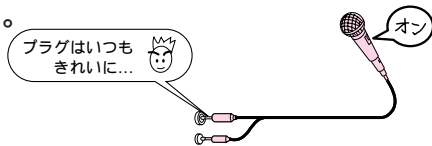
カラオケテープ(音声テープ)でカラオケするとき

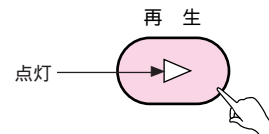
- テープはタイプI(ノーマル)・タイプII(クローム/ハイポジション)・タイプIV(メタル)のいずれも使用できます。

ワンタッチ
カラオケボタン

音量ボタン
(−、+)

1 モード切換ボタンで"カラオケ"を選択する。

2 テープを入れて、カセットドアを閉じる。

注意!!

C-100以上のテープは使わないでください。
(C-100以上はテープが薄いので巻き乱れ、静電気などを起こしやすく、故障の原因となります。)

3 主音量、マイク音量を"小"にする。

4 マイクをつなぎ、マイクのスイッチを入れる。

音多テープとは?
右チャンネルに伴奏と歌手の声が入り、左チャンネルには伴奏のみが入っています。このテープの場合はワンタッチカラオケボタンを2回押すと、歌手の声を消すことができます。

5 再生ボタンを押す。

入力切換がテープに自動的に切り換わり再生をはじめます。

6 主音量、マイク音量を調整する。

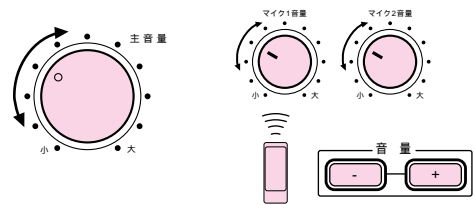
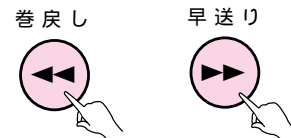
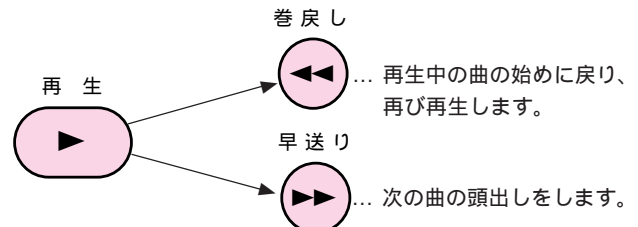
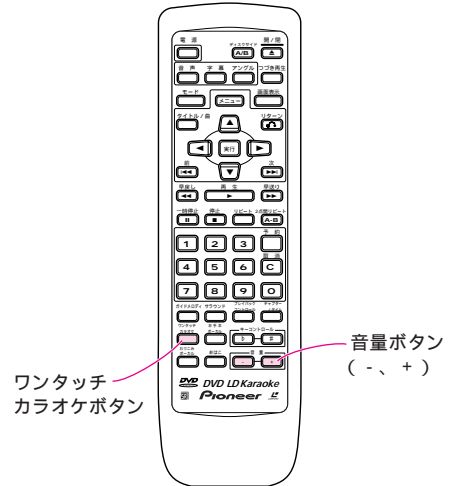
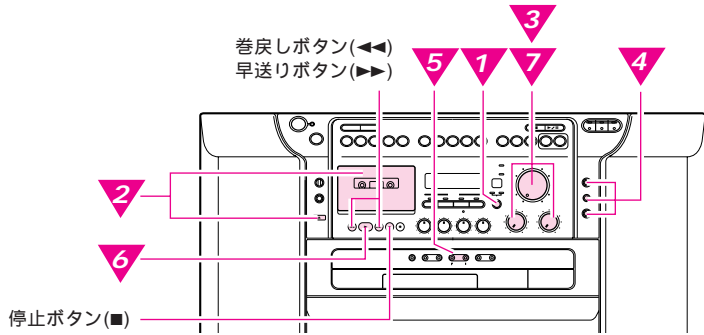
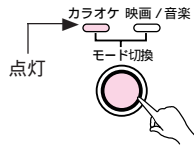
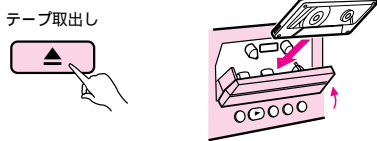
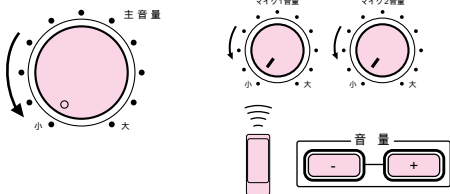
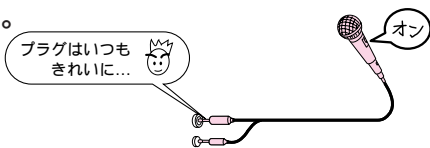
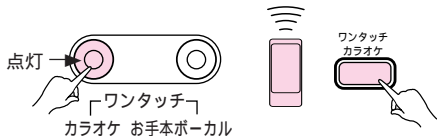
♪♪さあ歌いましょう♪♪

停止するには…
停止ボタン(■)を押す。

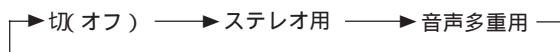
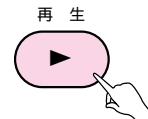
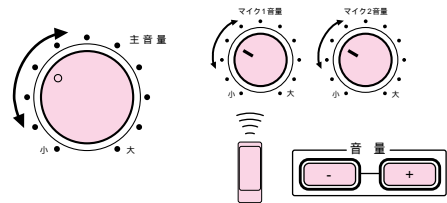
● 早送り、巻戻しをするとき(停止時に)

● 曲の頭出しをするとき

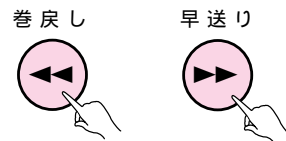
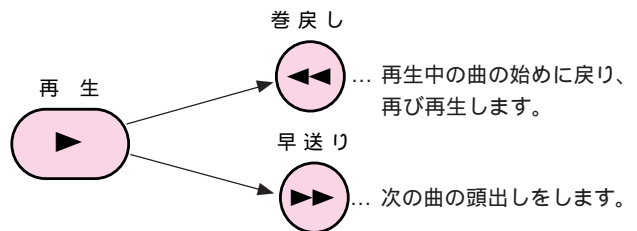
巻戻し…再生中の曲の始めに戻り、再び再生します。

早送り…次の曲の頭出しをします。

音楽テープでカラオケするとき

1 モード切換ボタンで"カラオケ"を選択する。

2 テープを入れて、カセットドアを閉じる。

3 主音量、マイク音量を"小"にする。

4 マイクをつなぎ、マイクのスイッチを入れる。

5 "ワンタッチカラオケ"ボタンを押す。

歌手の声が小さくなります。

- オフ(切)にするときは、インジケーターが消えるまで押してください。ワンタッチカラオケボタンを押すたびに次のように切り換わります。

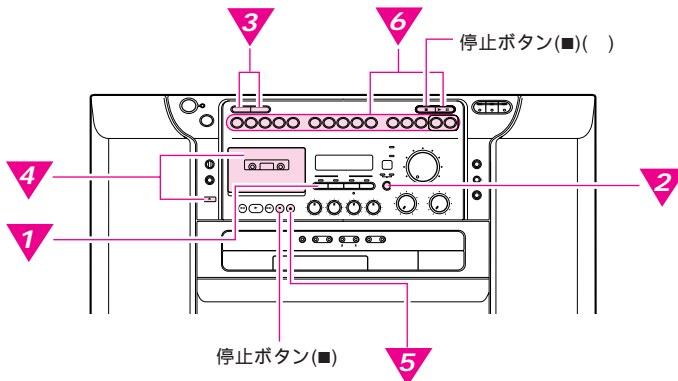
切(オフ) → ステレオ用 → 音声多重用 →（切(オフ)へ戻る）

6 再生ボタンを押す。

7 主音量、マイク音量を調整する。

♪♪さあ歌いましょう♪♪

停止するには…
停止ボタン(■)を押す。

● 早送り、巻戻しをするとき(停止時に)

● 曲の頭出しをするとき

なるほど！ 頭出しは、曲と曲のあいだに無録音部分(約4秒以上)がある場合に、機能します。

おや? 曲と曲のあいだ(曲間)の無録音部分(約4秒以上)が判別しづらいテープ(曲間に雑音がある、曲の途中で音がとぎれる、など)を使うと、上記の動作をしない場合があります。

カラオケ操作

カラオケを録音するには（DVD/LDプレーヤーとテープデッキを同期させる場合）

● DVD、LD及びビデオCD等の演奏と、自分が歌う声を合わせて録音できます(マイクミキシング)。タイプI(ノーマル)テープをお使いください。タイプII(クローム／ハイポジション)、タイプIV(メタル)での録音はできません。

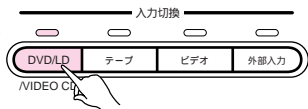
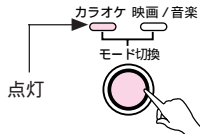
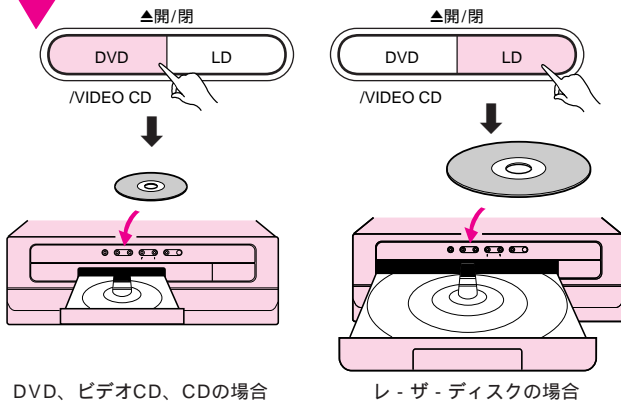
なるほど! テープのはじめにはリーダーテープ(録音できない部分)があります。あらかじめ、約5秒ほどテープを走行させておきましょう。

おや? 録音中本体部の※のついた停止ボタンを押すと、録音一時停止状態になります。再び録音をはじめるには、再生／一時停止ボタンを押してください。

1 入力切換ボタンでDVD/LD/VIDEO CDを選ぶ。

入力切換
DVD/LD /VIDEO CD　テープ　ビデオ　外部入力

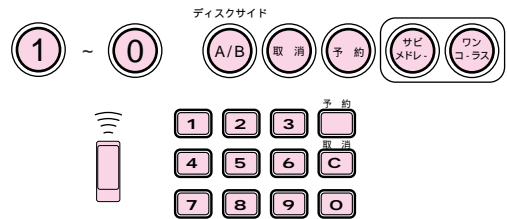
2 モード切換ボタンで“カラオケ”を選ぶ。

カラオケ　映画／音楽
モード切換
点灯

3 ディスクを入れる。

DVD、ビデオCD、CDの場合　　レーザーディスクの場合

4 テープを入れ、カセットドアを閉じる。

5 録音ボタンを押す。

録音一時停止状態になり、録音インジケーターが点灯になり、再生インジケーターが点滅になります。

6 選曲ボタン・ディスクサイドボタンで録音する曲の番号を選ぶ。

再生／一時停止ボタンを押す。

● 演奏が始まると同時にテープの一時停止も解除され録音状態になります。(シンクロ録音)
● 映画／音楽モードではシンクロ録音しません。
● ディスクの一曲が終わるとディスクもテープも一時停止状態になります(一曲停止ボタンのインジケーターが点灯しているとき)。

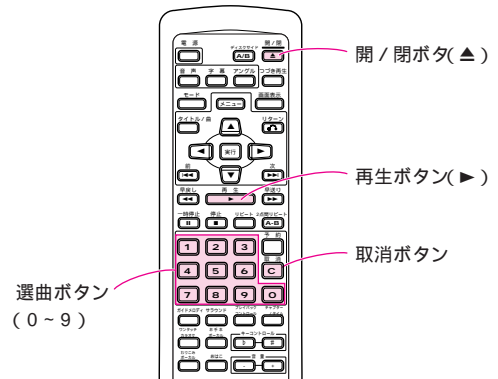
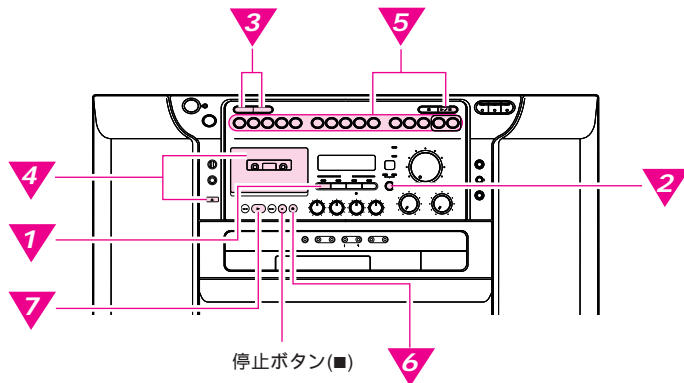
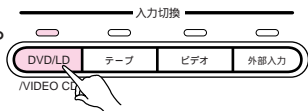
おや?
● DVDディスクでメニュー(選択画面)機能をもっているものはシンクロ録音はできません。
● ビデオCD(バージョン2.0)の場合
プレイバックコントロールをオフ(切)にしないと、シンクロ録音はできません(応用操作編 P.18 ～ P.20)。オフ(切)にしないでシンクロ録音を行うと、おかしな動作になるので必ずリモコンのPBCボタンを押してオフ(切)にしてください。

7 つづけて録音する場合は、手順 6 を繰り返す。

なるほど! 何曲か予約を行い、この演奏を録音する場合はディスクの一曲が終わっても一時停止状態にならずに録音されて行きます。
最後の曲が終わったときのみ停止します。

録音をやめるには… デッキ部の停止ボタン(■)を押す。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断では使用できません。

カラオケを録音するには（自分の好きな所から録音する場合）

1 入力切換ボタンでDVD/LD/VIDEO CDを選ぶ。

入力切換
DVD/LD /VIDEO CD　テープ　ビデオ　外部入力

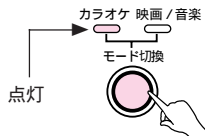
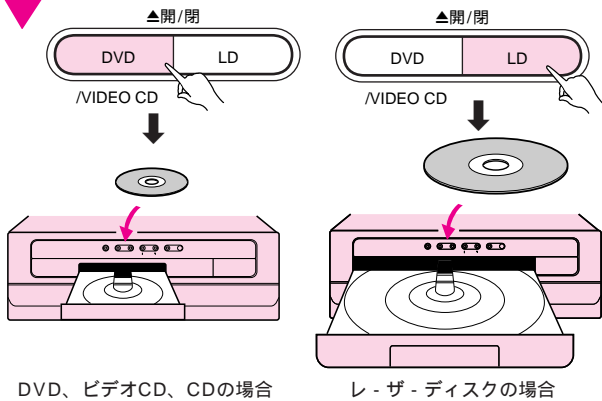
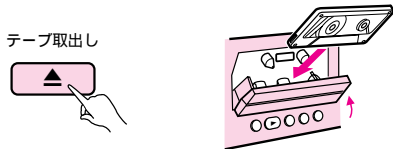
2 モード切換ボタンで“カラオケ”を選ぶ。

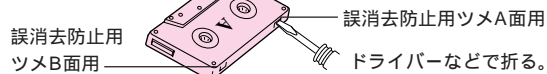
カラオケ　映画／音楽
モード切換
点灯

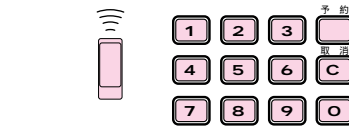
3 ディスクを入れる。

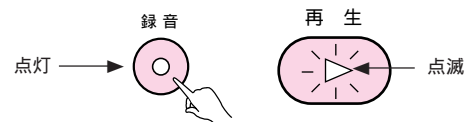
DVD、ビデオCD、CDの場合　　レーザーディスクの場合

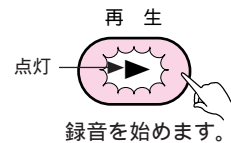
4 テープを入れ、カセットドアを閉じる。

テープ取出し

録音したものを誤って消さないために…

- ツメを折っておくと録音されません。

- ツメを折っても穴をセロハンテープでしっかりふさげば録音できます。

5 選曲ボタン・ディスクサイドボタンで録音する曲の番号を選ぶ。

再生／一時停止ボタンを押す。

6 録音ボタンを押す。

録音一時停止状態になり、録音インジケーターは点灯になり、再生インジケーターは点滅になります。

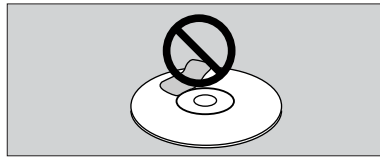
7 録音を始めたい所が近づいたらテープ部の再生ボタンを押す。

録音を始めます。

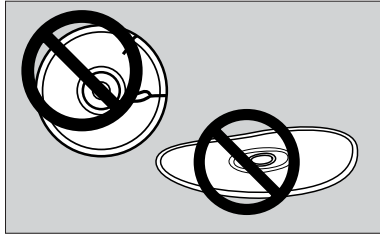
8 ディスクの一曲の演奏が終わるとディスクもテープも一時停止状態になります。(一曲停止オン(入)のときのみです。)

録音をやめるには…

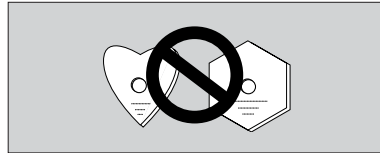
デッキ部の停止ボタン(■)を押します。

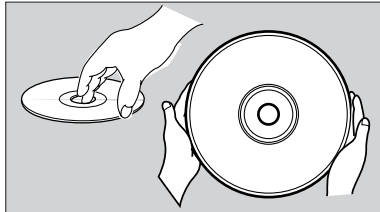
ディスクをセットする前に

紙やシールなどを貼りつけない

のりなどがはみ出した場合、ディスクが取りだせなくなるなどの故障の原因になります。
特にレンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。

ひびやそりのあるディスクは使わない

⚠ 注意

再生中、ディスクは高速回転します。
ひび割れ、変形、接着剤で補修されたディスクは、危険なので絶対に使用しないでください。
また、レコードスプレー、静電気防止剤などは、ひび割れの原因となりますので使わないでください。

特殊な形状のCDは使わない

ハートの形など、円形以外の形状のCDは使用しないでください。使用すると故障の原因になります。

ディスクを持つときは

ディスクの表面に触らないように持つ。

- ディスクが汚れたり、キズがついたりしますと、テレビ画面が乱れたり、進まなくなったり、飛ぶことがあります。また、シール等を貼ることはおやめください。
- 汚れがひどいときは、別売のLD&CDソフトクリーナーセットJV-D11を使いください。

ディスクをセットするときは

⚠ 注意

- ディスクトレイが引き込まれるときに指をはさまないように注意してください。また、小さなお子さまがディスクトレイのふたを開けて中に手を入れないように注意してください。けがをする場合があります。
- ディスク以外のものをディスクトレイにのせないでください。

DVD、CDディスクトレイ

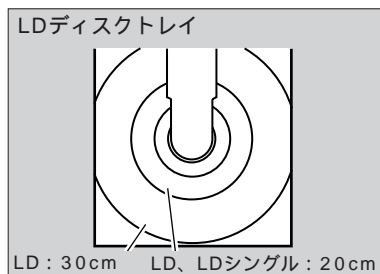
DVD, CD、CDV、ビデオCD、
ビデオシングル：12cm
CDシングル、DVDシングル：8cm

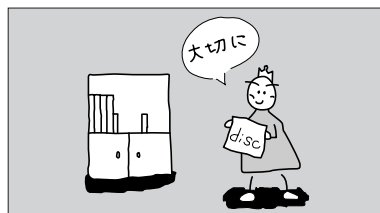
LDディスクトレイ

DVD、CD、CDV、ビデオCDの場合

- 曲名の書いてある面を上にして置いてください。
- 8cmシングルは、アダプターを使用せずにそのまま指定の場所にセットしてください。

LDの場合

- 片面ディスクは曲名の書いてある面を上にして置く。
- 両面ディスクは演奏したい曲名の書いてある面を上にして置く。（上にした面がA面、下がB面になります）
- 20cmLDシングルはアダプターを使用せずにそのまま指定の場所にセットしてください。

- ディスクを2枚同時にセットすると、ディスクにキズがついたり、故障の原因になります。必ず1枚だけセットしてください。
- ディスクトレイの溝からずれてディスクをセットすると、正しく演奏できないばかりか、ディスクを傷つけたり故障の原因となります。

ディスクを保管するときは

ジャケットやケースに入れて、日の当たらない場所へ垂直に保管する。

- 斜めにしたり、積み重ねておくとディスクがそる場合があります。直射日光が当たる所、高温多湿な所などに置かないでください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

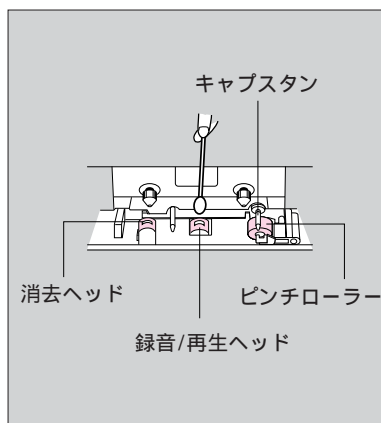
プレーヤーを長時間一時停止（ポーズ）状態又は一曲停止状態にしないでください。
一時停止中でも本機の内部は動作をしていますので、製品の寿命を短くする原因のひとつとなります。
また、プロジェクションテレビをつないでいる場合、画面表示が焼き付きを起こす原因となります。

お手入れのしかた

本体のお手入れ

通常は、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は水で５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。

注意!! アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。
また、化学ぞうきんなどを使用するときは化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

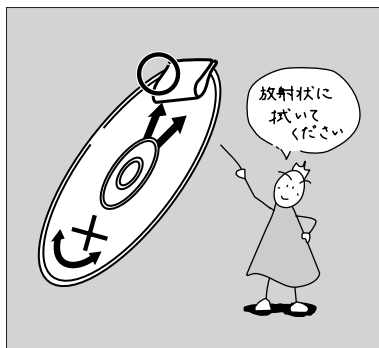
テープデッキ部のお手入れ

ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンの清掃は、市販のクリーニング棒で定期的に行ってください。
汚れがひどいときは、クリーニング液を使ってください。クリーニング液が乾くまで２～３分間はテープを装着しないでください。

注意!! 定期的に**清掃（10時間程度を目安に）**しないと高音が出なくなったり、テープが巻き込んだりするおそれがあるのでご注意ください。
別売りのクリーニングキット“JV-C1”を使用することを推奨します。詳しい使い方は“JV-C1”取扱説明書をご覧ください。

注意!! 市販されているヘッドクリーニングカセットの中にはクリーニングカセット自体が取り出せなくなる恐れのあるものもありますので、ご注意してください。

テープデッキ部ヘッドの消磁

長い間本機を使っていると、ヘッド部に磁気を帯びることがあります。
またヘッド部にドライバーや磁石などを近づけると同じような障害が起こります。
ヘッドが磁化されると「サー」という雑音が増えたり、高音が低下したりします。
市販のヘッドイレーサーで定期的にヘッドを消磁してください。ヘッドの消磁をするときは、本機の電源をオンにしてください。アンプ部やスピーカー部に悪影響を与えないように、**必ず音量を最小にしてください。**また、**ヘッドホンのプラグは端子から抜いておいてください。**
詳しくは、ヘッドイレーサーの取扱説明書をご覧ください。

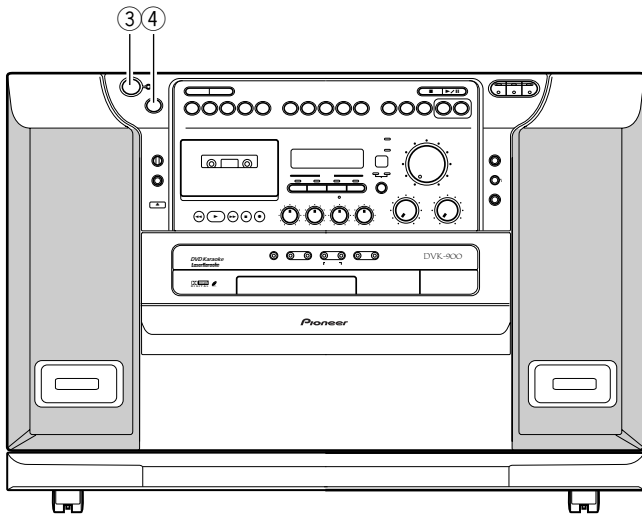
ディスクのお手入れ

ディスク面が汚れた場合は柔らかい布などで拭き取ります。
拭くときは、必ずディスクの内側から外側に向かって拭いてください。(円周に沿って拭かないでください。)
汚れがひどいときは、別売りのディスククリーニングセット“JV-D11”をご使用ください。

注意!! レコードスプレー、静電気防止剤、ベンジン、シンナーなどは使わないでください。

CDレンズクリーナーについて

DVD/LDプレーヤー部のピックアップレンズは通常汚れるものではありませんが、ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときは、“アフターサービスについて”（応用操作編 P.60）をお読みの上、修理をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーナーには、レンズを破損する恐れのあるものもございますのでご注意ください。

その他

デモモードについて

操作手順

①テレビを接続する。

②テレビの電源スイッチを入れる。

③本機の電源ボタンを押す。

④ヘルプボタンを2秒間以上押し続ける。

デモモードを解除するには

- **本体のいずれかのボタンを押す。デモ表示が解除されます。**

著作権について

- 放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

社団法人　日本音楽著作権協会（JASRAC・音権協）

本　　部	TEL	03(3481)2121	(大代表)
北海道支部	TEL	011(221)5088	(代表)
盛岡支部	TEL	0196(52)3201	(代表)
仙台支部	TEL	022(264)2266	(代表)
長野支部	TEL	026(225)7111	(代表)
大宮支部	TEL	048(643)5461	(代表)
上野支部	TEL	03(3832)1033	(代表)
東京支部	TEL	03(3562)4455	(代表)
西東京支部	TEL	03(3232)8301	(代表)
東京ｲﾍﾞﾝﾄ・ｺﾝｻｰﾄ支部	TEL	03(5286)1671	(代表)
立川支部	TEL	0425(29)1500	(代表)
横浜支部	TEL	045(662)6551	(代表)
静岡支部	TEL	054(254)2621	(代表)
中部支部	TEL	052(586)7590	(代表)
北陸支部	TEL	0762(21)3602	(代表)
京都支部	TEL	075(251)0134	(代表)
大阪支部	TEL★	06 (244)0351	(代表)
大阪北支部	TEL★	06 (244)7077	(代表)
神戸支部	TEL	078(322)0561	(代表)
中国支部	TEL	082(249)6362	(代表)
四国支部	TEL	0878(21)9191	(代表)
九州支部	TEL	092(441)2285	(代表)
鹿児島支部	TEL	099(224)6211	(代表)
那覇支部	TEL	098(863)1228	(代表)

（1998年8月現在）

「★」マークの電話番号は、1999年(平成11年)1月1日より、市内局番のアタマに「6」をつけておかけください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒１丁目４番１号